

# 紅 糸 萌

京都大学広報誌  
くれなるもゆる

### 源氏物語

室町時代後期に近衛種家（このえたねい）があつらえたと伝えられる源氏物語の写本。種家が当時の高名な書家を動員して書写させたと考えられる。のちに、毛利元康の手元に渡り、元康自身や連歌師の里村紹巴（さとむらじょうは）が欠本を補写した。巻ごとに表紙や用紙が異なる。冊子が納められる箱には蒔絵が施され、引き出し、鍵に至るまで細かな神経がゆき届いた造形となっている。文学研究科図書館所蔵。（関連項目は3ページ「巻頭特集」に。画像提供：京都大学附属図書館）



# アンケートに答えると「京大野帳」が当たる!



- 問1 本誌の入手場所
- 問2 関心をもった記事
- 問3 ご意見・ご感想
- 問4 年齢・職業(学年)  
プレゼントに応募の場合
- 問5 氏名・住所

スマートフォン、タブレットPC、パソコンで下記のQRコードを読み取り(もしくはURLを入力し)、専用フォームにアクセスするか、本誌裏表紙の奥付に記載の発行所宛に、郵送、FAXまたはメールで、上記項目について記入してお送りください。ご協力いただいた方の中から、抽選で30名様に「京大野帳」をプレゼントします。応募の締め切りは2018年9月11日(火)です。当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。

URL <http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/public/issue/kurenai/enquete>



作者

アートスタジオ水彩時々ベン  
桑原正明さん(文学研究科博士後期課程1回生)  
水彩画「雪晴れの朝」

ことばのもつ、どこか張り詰めた、冷たい空気感。去年の冬、まだ夜も明けきらぬうちに向かった雪の金剛山麓が、ふと脳裏に浮かんだ。不純物のない、きりりと引き締まった、冬独特の空気感が、そこにあった。2017/1/25 奈良県御所市鴨神

# 紅崩

京都大学広報誌  
くれなるもゆる

2018  
第33号

## 2 触発ギャラリー

### 3-8 特集

おそれずに、  
苦手科目に飛びこんでみよう  
カードの一面だけを見ていませんか

### 9 研究室でねほり・はほり

人類学の視点から  
東南アジアの未来を探る  
マリオ・ロペズ

### 12 授業に潜入! おもしろ学問

景観に潜在する  
歴史のレイヤーをあぶりだす  
増井正哉

### 16 施設探訪

京都大学農学部・農学研究科  
附属農場

### 19 京都大学をささえる人びと

守備範囲は日本全土、  
マネジャーは飛び回る  
高橋秀典

### 20 輝け! 京大スピリット

体操部/落語研究会/久保田結子  
有朋自遠方来 Ei

### 24 私を変えたあの・あの言葉

多様な出会いと交流のなかで  
千松信也

## 触発 ギャラリー

いろ

+

おと

+

ことば

主役は表現・創作活動  
にはげむ学生たち。起  
点となる作品に感化さ  
れ、イメージの淵から生  
みだされた作品をお愉  
しみください

おと



演奏者

音楽研究会器楽部 飯塚圭亮さん(法学部2回生)  
曲名「前奏曲集第1巻第10曲『沈める寺』」  
作曲 クロード・ドビュッシー

海底に沈む大聖堂がその姿を現し、そしてまた沈んでいくという情景が描かれているこの作品。どこことなく聴こえ、しかしたしかに、引き締まった空気を振動している点で、低く響く鐘の音と糸電話を通じて伝わる声とが重なりあいました。

ことば

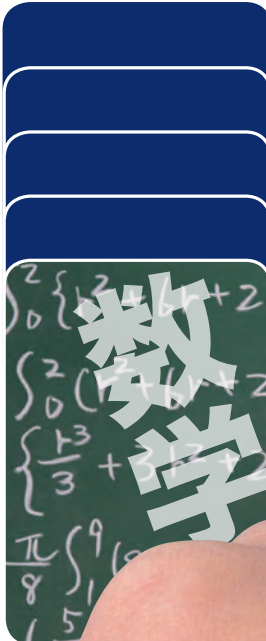
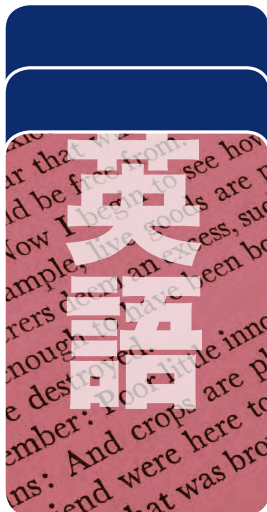
糸電話  
ほくはきよう  
プラネタリウムで  
にせもの星をみました  
白線上の夜を  
くぐもった声が  
まっすぐに走ってきました  
わたしはきよう  
新月をみつけました  
やはりまっくらな夜を  
声は帰っていききました

作者

かみふうせん しらあえ(文学部2回生)

糸電話で幼いころ遊んだものです。あの細い糸の上を、声が零れ落ちずに伝わってゆく不思議。

起点



カードの一面だけを見ていませんか

魅力を伝える  
ナビゲーター



数学 坂上貴之教授  
(理学研究科)



物理 常見俊直講師  
(理学研究科)



英語 桂山康司教授  
(国際高等教育院)



古典 金光桂子教授  
(文学研究科)



倫理 マルク=アンリ・デロッシュ准教授  
(総合生存学館)

# おそれずに、 苦手科目に 飛びこんでみよう

大学進学時に、どの学部にするか、卒業後の進路にもおおいに関係する。「ロボットが作りたいたいから工学部」、「読書が好きだから文学部」、「数学は好きだけど、理科が苦手だから経済学部」など、自身の興味や関心、好奇心のおもむくままに選択できればよいけれど、その前にたちはだかるのが苦手意識と受験の壁。「数学の点数がとれないから、理系はあきらめよう」などと言いつつ、みずからの選択肢を手ばなしていないだろうか。理解につまづいたり、テストで失敗をした結果、「**苦手だ**」と身構えてやる気が起こらなかつたりして、科目との距離が遠くなつてゆく。そうして、選択肢の一つひとつがぼんやりと消えてゆく。

しかし、だれかが「**苦手**」とする科目には、反対にそれを「**得意**」とする人もいる。その世界にどっぷりとつかって楽しんでる研究者たちもいる。研究者たちを何十年も、その世界にひきこみつけているおもしろさがきつとあるはずだ。私たちは好きにならずにはいられない「瞬間」を経験していかないだけかもしれない。それはまるで、カードの表面だけを見ているようなもの。多くの高校生たちが「**苦手**」と決めつけて毛嫌いする科目にスポットをあて、その分野で活躍する研究者をたずねた。みずからの研究の楽しさをいきいきと語る研究者の話から、「**苦手科目**」のおもしろさが見えてくる。めくったカードの裏側には、刺激的な世界が広がっているかもしれない。



# 科目の「難所」から、 学びの本質にせまる

高等学校で学ぶ教科は、国語、地理歴史、公民、数学、理科、保健体育、芸術、外国語、家庭、情報の10教科。なかでも、とくに「苦手だ」という声の多い、5教科5科目をとりあげ、その声を率直に教員にぶつけてみた



数学は問題が解ければ、それで終わりではありません。一つの問題の解決は新しい問題を生みます。というのも、その問題とは、対象の重要な要素にしぼって、数学的に表現したものだからです。数式一つで、その対象のすべてを表現することはめったにありません。目的地をめざして、いろいろな要素をつけくわえながら、すこしずつ前にすすんでいきます。ですから、一つの問題が解けても満足することはありませんし、この挑戦は、ほんとうに「わかった」と思えるまでおそらくつづくでしょう。その意味では、数学を考えるとというのは発見と驚きの連続なのかもしれません。みなさんも奥深い「数学の世界」に足を踏み入れてみませんか。



# 数学

？ 数学の知識はいつ役だつもの？

！ 受験の数学は基礎トレーニング

こうした技術はいつでもつかえるものですが、これらをおとして身につける「数学的な考え方」はみなさんの基礎能力として見えないところで役だつはず。また、「受験科目」の数学をスポーツで例えると、どのくらい早く走れるのか、動体視力はどうかといった「基礎体力」を見きわめるテストとみることもできます。大学や学部にはそれぞれに、試合にエントリーできる標準記録（＝大学での問題を処理するために求めている基礎能力）があります。それをクリアしているかどうかで試験で問われているのです。

？ 数学の問題にゴールってあるの？

！ 私たち数学者ですら、ゴールははるか遠く

# 物理

？ 物理独自のことがわかりません

！ 物理好きの輪のなかに飛びこんでみましょう

たしかに物理には、「なめらか（摩擦が0）」、「静かに（初速が0）」など、ことばの概念が日常的につかうことばの感覚とは異なるのです。たとえば、風邪をひいて、いつもより体温が高いことを「熱がある」と言いますが、物理学の視点からいえば、「人間、だれでも熱をもつるがな」とつっこみたくなる。(笑) 絶対零度でないかぎり、どんな物体も「熱がある」といえるのです。ちまたで「エネルギーを節約しよう」とよく聞きますが、エネルギー保存則からすれば、エネルギーに「節約」する余地はなく、「エントロピーのむだな増大を抑えましょう」が正しい……と語りはじめる、「理屈っぽくてむずかしい」とそっぽを向かれてしまうかな。(笑)

でも、ものはためし。毛嫌いせずに物理を好きな人たちの会話を聞き耳をたててみてください。物理的な思考回路は、見慣れた日常の風景の視点をガラリと変える力があります。金属製のコテを鉄板の上に長時間置きっぱなしにすると、持ち手の部分まで熱くなって、「あっちうち……」となることがあります。物理を学ぶ学生たちとお好み焼きを食べに行くとき、その光景を見て、みんないっせいに、「熱伝導率だ！」と口にするんです。(笑)



# 英語



**?** カタコトの英語を話すのが  
恥ずかしい……

**!** ことばの本質は  
「リズム」である！

英語は、強弱でアクセントをつけるストレス・リズムの言語です。ストレス部分をひたきわ強くはつきりと発音するのが特徴です。それ以外は弱くあまいに発音するので、音がくっついたり、省略されたりするのです。英語のネイティブ・スピーカーの話す日本語がたどたどしく聞こえるのは、英語のリズムに日本語の音をのせているからです。いっぽう、日本語は一つひとつの音をていねいに発音し、音の高低で抑揚をつけます。だから、そのリズムで英語を話すと、母音が多くなり、カタコトになるのですね。



**?** 英語のリズムに慣れる方法は?

**!** 英詩の朗読が  
いちばんの近道です

音楽やダンスなど、リズムカルなものが楽しいげなように、ことばの勉強も、くふうしたいで、もっと楽しめるはずですよ。文法や単語の意味にとらわれず、外国語の音の楽しさ、リズム感に慣れることからはじめましょう。おすすめは英詩。意味がわからなくても、リズムで覚えられます。高校教育でも、英詩の朗読を取り入れれば、英語への苦手意識は薄まるはずだと期待しています。(笑)

**?** なぜ二〇〇〇年もむかしの  
物語を勉強するの?

**!** うつつう世の中、  
それでも変わらない人間の姿



古文を読むとき、現代の社会や暮らしとの「違い」に注目すれば、私たちがいま生きていくこの時代を相対化して見ることが出来ます。大きく時代を隔れても、たいして変わらない人間の心の動きや行動、ふるまいに注目して、「人間はもともとこういうものなんだ」と納得することで、自分の悩みをなぐさめたり、未来を考える材料になります。人文学を学ぶ究極の目的は、人間を考えること。むかしの人の文章にふれることは、異国の文化にふれることと同じで、人間の多様性と普遍性を実感させてくれます。

**?** 文法と単語の暗記ばかりで、  
ちっとも物語に入りこめません

**!** まずは声に出して  
読みあげてみませんか

古文に興味をもったきっかけは『源氏物語』を漫画化した『あさきゆめみし』。多様な性格の女性がいるのがおもしろくて、中学生のころに原文を手にとりました。古文の文法はもちろん、単語の意味も知りませんでした。声に出して読んでみると、文章のリズムが心地よくて、なぜか気分がよくなる。そうして、古文にのめり込んでしまいました。意味をきちんと読みとくには単語や文法の知識は必須ですが、古典に抵抗のある人は、だまされたと思って、まずはいちど声に出して読んでみませんか。

## ステキ!



# 倫理

**?** 哲学って、「かんたん」なことを  
わざと「むずかしく」している  
だけじゃないの?

**!** 過去の哲学は、  
現在の私たちを映す鏡

哲学や思想を古い時代の思想家たちがこのした「説教」のようなものと考えてはいませんか。彼らが生きていたその時代、人びとはなにをめぐらしていたのだろうか。と想像してみてください。古くから残る宗教の教典や、思想家の残した文献は、多くの人間の成功と失敗の蓄積です。鏡がなければ、自分の顔を見ることができないように、過去の文献を見ることで、私たちがこれからなにをすべきかを考えることができます。正しい選択をするには、長期的な観点でものごとを考える必要があります。何百年、何千年と残りつづけたテクストだからこそ、何百年、何千年先を考える礎となるのです。



**?** 東洋哲学ってなに?

**!** 東洋の思想は、  
体があつてこそ

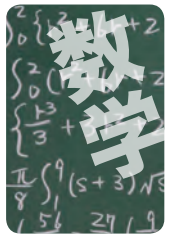
私の専門は仏教です。東洋思想や仏教がおもしろいのは心と体の全体で考える点。頭で考えるだけではなく、体をつかちて修行することも同じくらい重視しています。それぞれの「生き方」とつながっているのです。武道や茶道、華道などは、そうした思想を体感できます。智慧や思想を理解するのではなく、「身につける」ことができるのです。





研究者に聞きました

# 「その学問、どこが魅力？」



その答えには、学問のおもしろさのみならず、身のまわりの出来ごとやものごとを新たな視点で見つめるヒントがひそんでいた

## 数学

なんでも研究の対象に  
しうるのが数学です  
坂上貴之教授  
(理学研究科)



一見、まったく関係のないように見える二つの事がらを「数学」のコトバで書いてみると、思いもよらない共通点がうかがいあがる場合があります。たとえば、私は「水の流れ」に関する数学的研究をしています。飛行機の翼まわりの流れと微生物の水の中の運動が、高校で習う「複素数」のコトバで書けたりします。このように、異なる対象に「数学」という横串をおすことで、共通点がクリアに見えたり、新しい側面を発見できたりする。ふだん目にするものすべてにその発見のチャンスがあるのです。つまり、身のまわりのふしぎはなんでも数学になりうるということです。温暖化や少子化など、人類の生存に関わる地球規模の複雑な課題、はたまた、昆虫はなぜ、どんな風の中でも飛びたてて、しかも、まちがっても落ちないのかというような素朴な疑問にも、数学のコトバで、その答えを探ることができます。

**ヒント**

たとえば、滝を見たとき、ある人は「水が落ちる」という物理現象に興味をもちたり、落下の力で水車を回せると思ったり、美しい絵として描きたいと思ったりします。対象をどういう方法でとらえれば、自分にとっていちばんしっくりくるのか考えると、みずからの進むべき道がわかります。私は、数学的な見方をとおして理解すれば、いちばんすっきりと「わかった」気になるタイプだったようです。受験で得意な分野だけでなく、自分が興味あるものに、どう感じるか、どう理解したいか、どう表現したいかをすなおに考えてみてください。おのずと自分が文系か理系かがわかるのではないのでしょうか。そうして、「なぜ？」という現象の科学的な側面に興味をもったなら、まずはその世界の入口に立つしかない。そのためにはやはり、受験のために理科や数学を勉強しなければならないということです。

さかじょう・たかし  
1971年に大阪府に生まれる。京都大学大学院理学研究科数学-数理解析専攻博士課程を中退。名古屋大学大学院多元数理科学研究科助手、1999年に京都大学博士(理学)、北海道大学大学院理学研究院准教授・教授などをへて、2013年から現職。

それを楽しめるかどうかは、本人の心意気しだいです。  
数学は時間スケールの大きな学問でもあります。実際、私が研究している方程式は二五〇年以上も前につくられたもので、その解がいつもあるのかないのかまだわかっていません。ですから、一〇〇年後の数学の新発見は、現在はほんのみぢかな疑問のなかひっそりと隠されていて、数学の問題としての形をまだなしていないだけかもしれせん。学生のみなさんには、いろいろなことに興味をもち、それを見つめる大きな視点を身につけてほしいですね。

Point vortices on a toroidal surface:  
 $(\theta_m, \phi_m) \in (\mathbb{R}/2\pi\mathbb{Z}) \times (\mathbb{R}/2\pi\mathbb{Z})$ ,  $P_m$   
the evolution of  $N$  point vortices is de  
$$r^2(d - \cos\theta_m) \frac{d\theta_m}{dt} = i \sum_{j \neq m}^N P_j \left[ \frac{K(\beta_m)}{4\pi} + \dots \right]$$
  
$$r^2(d - \cos\theta_m)^2 \frac{d\phi_m}{dt} = \sum_{j \neq m}^N P_j \left[ \frac{K(\beta_m)}{4\pi} + \dots \right]$$

# 物理

## 物理でわかっていることは世界のたった1%

常見俊直 講師  
(理学研究科)



世界を客観的に、厳密に見るのが物理学。たとえば、「氷が解ける」という現象を、「氷が解けたら春になる」と情緒で捉えるのではなく、「氷は解けたら水になる」と考えるのが物理です。

「物理の先生なら、あらゆるものを数式で理解できる」と思われることがあります。落ち葉がひらひらと落ちる運動一つをとっても、正確に記述するのはとてもむずかしい。一九世紀後半には、「物理学は完成し、研究の余地はない」と言われていたようですが、それから二〇世紀はじめに相対性理論と量子力学が発表されました。



小学校、中学校、高等学校などに出前授業を行なう機会の多い常見講師。「光には3つの色があり、3原色の赤、緑、青を重ねると白になることは、多くの方が知っています。けれども、この現象を実際に見たことのある人は少ないでしょう。小中高生向けの授業では、3原色投影装置(写真)で実際に自分の眼で現象を見て、3原色を体験してもらっています」。

だが、二〇世紀初頭に電子や陽子といった素粒子が発見された。新しい発見が増えれば、未知のことがさらに増えるのです。いま、物理学でわかっていることは、おそらく地球上、そして宇宙での現象の1%にも満たないのではないでしょうか。



### ヒント

**数**式や物理学のことばに抵抗感を示す学生は少なくありませんが、実験をすれば、目を輝かせてのめり込む学生が多いのも事実です。理学部だからといって、みずから計算式を解く必要はありません。インターネットの検索窓に文章や数式で質問をすると、回答を得ることができるシステムなどがあって、大学レベルの数学も解いてくれます。だからこそ、数式を「覚える」よりも、「理解する」ことがだいじ。「計算が得意」だから理系の学部にするもうと考えている人は、自分がなにに興味があるのか、問いかけてみてください。数学そのものに興味があるなら数学を学べる理学部、ものづくりに興味があるなら工学部が向いているかもしれませんね。



つねみ・としなお

1976年に山口県に生まれる。京都大学理学部を卒業、東京大学大学院理学系研究科博士課程を修了。大阪大学核物理研究センター教務補佐員、京都大学大学院理学研究科研究員をへて、2012年から現職。

# 英語

## ことばをへ生きたものごとく感じてほしい

桂山康司 教授  
(国際高等教育院)



私の専門は「英詩」です。「詩は舌の快楽である」ともいわれるように、ことばの「リズム」という本質を美しく昇華したものです。しかも、古い詩の表現を引用したり、あるいはまったく新しい表現をつくりだしたりと、詩はあらゆる方法でことばの表現の可能性を追求しつづけています。音の楽しさを味わえると同時に、ことばの働きの奥深さも理解できる、とても贅沢な学問です。母語ではない言語は直観的には理解できませんから、論理を駆使して解釈する必要があります。でも、ことばを理解するには、文脈や話し手の意図など、論理を超えた部分を感じとる感覚も重要です。まずは、理屈で徹底的に突きつめて、そして最後に「跳ぶ」のです。作家の人生や価値観が集約された世界にたどり着くことで、人間は感動するのです。その場所が唯一の正解だとはかぎりません。詩はあいまいで、多様な解釈を許す。それは、「人生のあいまいさ」にもつうじているように、とても魅力的です。

「いいな」と思うことを追究すると、そこに将来につながるヒントがあるはず。私は高校生のころ、漢詩の読み下しのリズムが好きでした。それがいまの英詩の研究につながっているのかもしれませんが、ことばによって表されたものを読んだり書いたりすることが好きな人は、ことばの研究に力を入れているかも。ことばに「感動」できることは、りっぱな個性だと思います。



### ヒント

「いいな」と思うことを追究すると、そこに将来につながるヒントがあるはずです。私は高校生のころ、漢詩の読み下しのリズムが好きでした。それがいまの英詩の研究につながっているのかもしれませんが、ことばによって表されたものを読んだり書いたりすることが好きな人は、ことばの研究に力を入れているかも。ことばに「感動」できることは、りっぱな個性だと思います。

かつらやま・こうじ

1959年に大阪府岸和田市に生まれる。京都大学大学院文学研究科修士課程を修了。滋賀大学経済学部講師、京都大学教養部助教授、同大学院人間・環境学研究所准教授などをへて、2015年から現職。

# 古典

## 「うつくし」、「うるわし」、「なつかし」。 あの人はどのタイプ？

金光桂子教授  
(文学研究科)



古典のこぼれをおして感じるのはいにしえ人の感受性のこまやかさ。平安時代と現代のこぼれを比較すると、名詞の数は増えてはいますが、形容詞・形容動詞はかなり減っています。現代人なら、「うつくしい」と一語で表現してしまうようなことで、「うつくし」や「うるわし」などの形容詞をたくみにつかいわけのです。

「うるわし」は「整った端正なうつくしさ」を意味します。「整ったうつくしさ」とはなにかを理解しないまま、受験のためにただ暗記する人は多いかもしれませんね。どんな女性を「うるわし」と形容しているのか、その女性にはどんなことばで形容されているかを調べてみると、ことばの理解がだんだんと深まります。

た楊貴妃は「うるわし」。「なつかし」はいまのことばでいう「癒し系」の女性や、親しみやすさを感じさせる人につかわれることが多いのです。みぢかな友だちや芸能人を「うるわし」、「なつかし」に分けてみてみてください。実生活に結びつけて考えると、おのずと違いがわかるようになりますよ。



「うるわし」は「なつかし」ともよく比較されます。光源氏の母の桐壺は「なつかし」、中国の唐の王妃だっ



**将** 来の目標や自分の個性を「はやく見つけなければ」と、焦っていませんか。そうかんたんに見つかるものではないし、たとえ見つからなくても焦る必要なんてないんです。「平凡なサラリーマンなんてつまらない」という人もいますが、それはそれでいいじゃないですか。興味のあることがあれば、やってみればいいし、夢中になれるものが見つからないなら、自分に与えられたことにしっかりと取りくめばいい。どちらの方法でも道は拓けるはず。がむしゃらに取りくんだ経験も悩んだ日々も、あなたのだいいな一歩ですよ。

かなみつ・けいこ  
1973年に神戸市に生まれる。京都大学大学院文学研究科博士後期過程を修了。大阪市立大学大学院文学研究科助手、京都大学大学院文学研究科准教授をへて、2017年から現職。

# 倫理

## 「幸せとはなにか」。 あなたは答えられますか

マルク・アンリ・デロッシュ准教授  
(総合生存学館)



高校の「倫理」で学ぶ内容は、人文科学・社会科学の領域にまたがっています。西洋哲学における、哲学 (philosophia) の語源は、「知恵 (sophia) への愛 (philo-)」。

知恵をつけて、善く生きるための学問でした。そうはいっても、人は一人で生きるのではないから、そこには必然的に社会が存在するのですね。

「善く生きる」には「自覚」が重要です。「自分になる」、「人間になる」自覚とは、自分の感情や考えをコントロールする心の成長を意味します。

自覚には、「内観」の訓練が必要です。内観というのは、自分の意識や状態、考え方のパターンやそのまちがいを意識することです。内観には注意力が必要ですが、現代社会は情報が氾濫していて、注意力が散漫になりがち。スマートフォンなどの通信機器も普及して、完全に独りになる時間が少ない。「自覚」の習慣がなくなってしまうのです。自分の感情や考えを管理できない人が増えると、「倫理が守られていない」という声が増えてくる社会になります。

だれもが「幸せになりたい」と思っています。では、「幸せ」とはなんでしょう。哲学は、みずからのありかたこそが重要だと教えてくれます。幸せは外から得られる

ものではなく、「自分のありよう」からもたらされるのだと実感できれば、人生も価値観も違ったものになります。若いうちにこれを知ると、自分や周囲のできごとの意味・意義を考えて、より柔軟に生きられたり、まわりの人の幸せをもはつきりと考えたりできます。哲学や倫理は「むずかしく考える」ことではなく、善く生きるために、ものごとを明らかにする学問です。哲学は「役にたたない」どころか、あらゆることを善くする役にたつのですよ。

### おすすめの入門書

マルクス・アウレリウス『自省録』  
第16代ローマ皇帝が自分のために書いたとされる哲学的思索の記録。



『ダンマパダ (真理のことば)』  
仏教の開祖、仏陀 (釈迦牟尼) のことばを詩のかたちにとまとめたもの。現存最古の経典といわれている。

どちらの文献も、みぢかな体験をもとに自分を見つめなおすことを教えてくれる本です。

Marc-Henri DEROCHE  
1979年にフランスに生まれる。2011年にEPHE (パリ) にて東洋学博士号を取得。京都大学白眉センター特定助教をへて現職。





「いろいろな場所をうろつくと歩んできた人生なんです」。日本を拠点に、アジア太平洋地域における看護師や介護士などの労働者や移民たちの流れを研究するマリオ・ロペズ准教授。イギリスに生まれ育ち、そのときの好奇心を追い風に、進路を決めてきた。母国を離れて、一七年。あらためてふりかえってみると、その道はけっしてまっすぐではなかった

# 人類学の視点から 東南アジアの未来を探る



フィリピン・ビサヤ州立大学熱帯生態環境管理研究所の教員と懇談中。左からイアン准教授（マニラ大学）、ロペズ准教授、ホセ助教（ビサヤ州立大学）

「まさか日本で何年も暮らすことになるなんて」。マリオ・ロペズ准教授が大学院生として日本にはじめてやってきたのは、二〇〇〇年のこと。十代後半は書店員として働いたり、そのご、金融街で会社員をしながら大学に通ったりと、多彩な経験を積んだ。ロペズ青年の眠れる好奇心をよび覚まし、日本への扉をひらいたのは、大学院で南米の研究にはげむなかで出会った「移民」というテーマ。「一九八〇年代後半の日本のバブル景気や、一九九〇年の出入国管理法改正を機に、ブラジルやペルーから日本に出稼ぎにでる日系人が増えました。こうした状況が生まれるのは

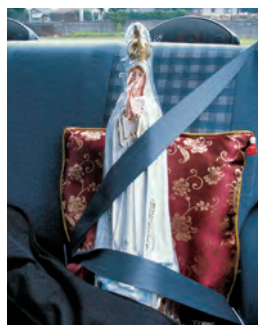
なぜか。南米の国ぐにの政治経済の状況や近代史、そして人びとの語りから迫りたいと考えたのです」。

## 移民の流れを追って、 日本に留学

思い立った勢いのままに、在英国日本大使館が派遣する国費留学生に応募し、東北大学に留学が決まる。しかし、日本という国に特別な興味はなく、日本の印象といえば、幼少期に親しんだテレビゲームと漫画くらいだった。「大学時代、二週めで受講生が半減するよいうな厳しい日本語の授業をなんとか最後まで受講して、日本語にはすこし自信があった。(笑) 父親は

スペイン出身で、私もすこし暮らしたことがありますから、ペルーの公用語であるスペイン語もわかります。フィールド調査は現地の人に話を聞くことがたいせつで、ことばが勝負。自分のスキルを客観的に判断し、日本への留学を決めました」。

東北大学で、ペルーからの日系人労働者の調査に一年半かけて取り組み、つぎは博士課程に……と思いきや、縁に導かれて訪れたのはフィリピン、そして、国際交流員として働いた長崎市だった。研究への思いもあったが、調査する側の立場で、現場で働く労働者と接する違和感が拭えなかったとい



フィリピンで祝福を受けたのち、日本に運ばれた聖母マリア像（左）。フィリピンの方の自宅や教会などの祈りついででだじにつかわれている。右は熊本県人吉市の教会で、マリア像の包装を解いたところ。教会はフィリピンの方にとって、友人との懇談・交流の場でもある



熊本での聞き取り調査

東南アジア地域研究研究所

## マリオ・ロペズ 准教授

Mario Lopez

1974年にイギリスに生まれる。2000年にロンドン大学ゴールドスミス・カレッジを修了。2000年に東北大学に留学。2004年に九州大学大学院を修了。立命館アジア太平洋大学の講師をへて、2009年から現職。





口にはさみ、指で端をはじいて音を鳴らします。フィリピンの少数民族の儀式で踊るさいにつかいます。

フィリピンの少数民族の伝統口琴、クビン。フィリピンでひろくつかわれている



### ランチタイムは鴨川沿いを走っていました

裸足ランニング（ヘアフット・ランニング）をしています。この靴はその相棒で、7年前に購入したものです。ソールがものすごく丈夫なのです。

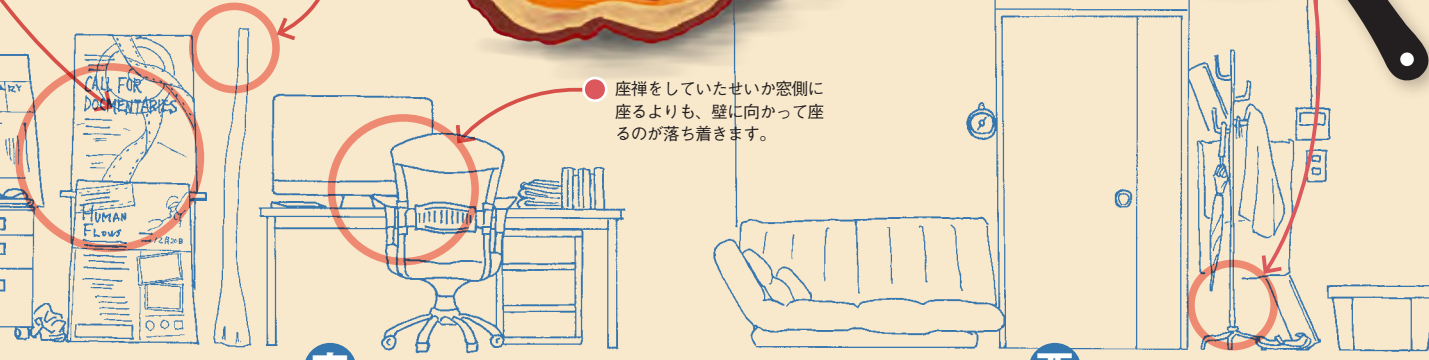


### 民族楽器が好きです

他国に行くたびに、民族楽器を探したり、現地のCDを買うことが好きです。ディジュリドゥ（右）はオーストラリアの先住民に伝わる楽器。瞑想などにつかわれるようで、楽器店で一目惚れしました。



座禅をしていたせいか窓側に座るよりも、壁に向かって座るのが落ち着きます。



南

西

## 人生に深く刻まれた九州での出会い

う。「実社会でもっと経験を積みたくなりました。いっぽう、フィリピンでの現地調査をつうじて、フィリピンへの関心が高まっていた時期でもありました」。

長崎での二年間は、故郷に戻る

か、日本で研究をつづけるのか、岐路に立たされた時期でもあった。明け方まで営業する飲食店が軒を連ねる「思案橋」に足を運んださい、この一帯で働くフィリピン出身の女性たちが気になった。「仙台でも多くのフィリピン人に会ったけれど、彼女たちはなぜ日本にきて、どのように暮らしているのだろう」。素朴な疑問とこれまでの経験とが線でつながった。

同じころ、ある本と出会い、強い影響を受けた。「フィリピンでの三〇年以上の調査経験にもとづく、ゆたかな知識をまのあたりにして、『日本からもこんなに深く世界を語れるんだ』と、日本への誤解と世間知らずな自分とを恥ずかしく思った。指導を受けるならこの人だと、その先生が当時、教鞭をとっておられた九州大学に向きました」。それが、恩師と仰ぐことになる清水展東南アジア地域研究研究所名誉教授だった。

迷いのふっぎれた口ベズ准教授は、清水先生の薫陶を受け、九州

大学での研究にぐっとのめりこむ。テーマは、「日本人とフィリピン人との国際結婚」。一九七〇年代以降、フィリピンからの労働者が増え、都市でも農村でも日比カッブルが増えた。「彼らの語りを集めて研究したいと。でも、家族や結婚はプライベートな事情。見ず知らずの若者に話をしてくれる人はなかなかいません。でも、ねばり強く、相手のことを考えながら耳を傾けると、ぽつりぽつりと人生経験をうちあけてくれるのです」。信頼を置いてもらえるまで、なんども足を運んだ。フィールドワークは三年にもおよんだ。

「調査をとおして、三〇年以上も前から、外国人労働者たちが地域に根を下ろし、家庭という小さな社会のなかで新しい人間関係の形をつくっている事例が多くあると知りました」。日本で移民をめぐる課題を考えると、これらの事例から学べる点があると口ベズ准教授はいう。「たとえば、カトリック教徒のフィリピン人女性と結婚し、キリスト教に改宗した日本人男性のケースがあります。結婚当初は居間に仏壇があり、べつの部屋に妻が拝む聖母マリア像のあった家庭が、しばらくするとマリア像は居間に移り、仏壇はなくなっていった。男性に聞くと、『妻の信仰心に魅了されたんだ』と。これは一例ですが、日本と東南アジ

\*1 東南アジア地域研究研究所 2017年1月に東南アジア研究所と地域研究統合情報センターとが統合し、発足。



フィリピンの漫画を集めています

フィリピンの漫画は社会的なテーマが描かれることが多いです。現実のパロディをとおして、現代社会がどんな問題に立ち向かっているのかが表現されています。日本の漫画の影響もありますが、独特の作風が生まれています。フィリピンの社会や文化を理解するにもよい材料ですので、いくつか図書館に寄付したいです。



蔵するマンガの一部

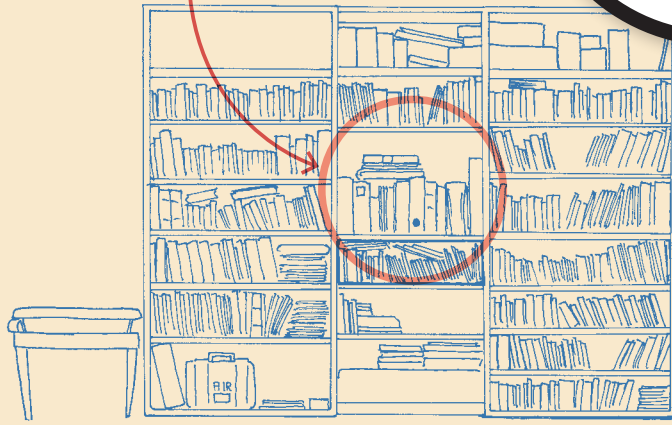
ビジュアル・ドキュメンタリー・プロジェクト

東南アジアの若手の映像作家が制作したドキュメンタリー作品を集め、選考委員が選んだ5本を日本で上映するプロジェクトを6年前からすすめています。目的は、異なる視点から東南アジアを見直すこと。現地の作家がもっとも撮りたいものを撮ることで、研究者はもちろん、他国の人が気づかないことや見ていない姿をあぶり出したい。初年度に受理された作品は30本でしたが、2017年は103本の作品が集まりました。作品はホームページから、だれでも閲覧できます。(https://sea-sh.cseas.kyoto-u.ac.jp/vdp2016/)

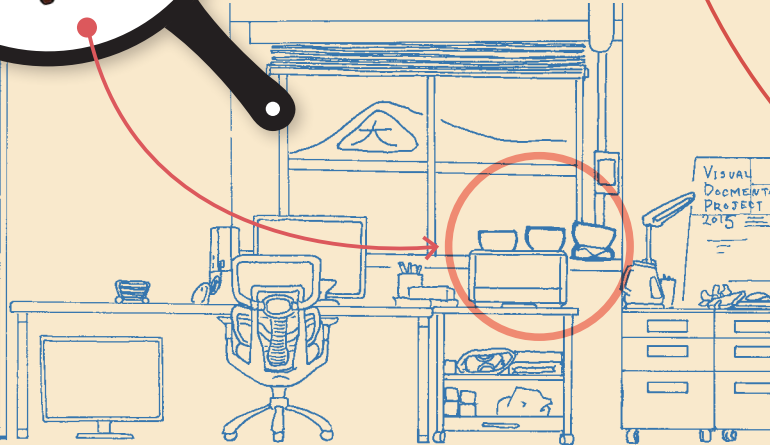


窓辺に並ぶ3つの法具

チベット密教で使用されるシンギングボウル(りん)という法具です。長崎で毎週、座禅を組みに行っていた禅寺で関心をもって、インターネット通販で購入しました。



北



東

近年、力を入れるのは、外国人労働者として介護や看護に携わる人たちの国際的な動向調査。少子高齢化のすすむ日本でも、経済連携協定にもとづき、フィリピンや

九州大学を修了後、大分県別府市の立命館アジア太平洋大学の講師をへて、二〇〇九年に東南アジア研究所(以下、東南研)に。人類学から、農学、生態学、政治学、医学まで、文理融合のもとに多様な分野の研究者が集う東南研での生活に刺激を受ける毎日だという。「同じ課題でも、分野ごとに調査方法が異なるので、話せば話すほど新しいことに気づきます。東南研は出会いの場でもあり、知恵を積み上げる場。創立から五〇年かけて蓄積された成果は、世界中の東南アジア研究者に有益な情報ばかりです。」

まわり道をへて、たどり着いた京都にて

アの人びとがどのようにつながることができているかを考えるにも興味深い事例ではないでしょうか。「九州で築いた関係はいまもつづいています。継続して調査に協力くださる方や、友人としてつきあっている方もいます。九州は私を大きく成長させてくれた思い出が深い土地。『第二の故郷は』と聞かれれば、長崎か福岡と答えるかな。」

インドネシア、ベトナムから年間数百人を受け入れている。でも、日本には積極的な移民政策はなく、長期にわたって働くのはむずかしいと、やむなく自国に帰る人も多い。いつばつ、ドイツでも国内の看護人材の不足を高度な技能をもつ外国人で補っています。たとえば、ドイツ国際協力公社の設計したプロジェクトでは、母国から家族をよんでともに暮らせるなどの制度を整え、長期的に働ける施策がとられています。近い将来、東南アジアの国々にも高齢化に直面する。福祉制度や介護設備が充分でないまま高齢化社会を迎えると、家族や親族など、まわりの人たちに介護の負担がかかる。「日本とドイツとはめざす方向性や政策は違います。国ごとの事情を踏まえ、たうえで比較して、日本や東南アジアの国々にとって有益なケア政策を提言できる段階まで、この研究を進化させたい」と意気こむ。

市井の人びととの対話に、すすむ方を照らされてきた口ベズ准教授。「私の土台は人類学。人類学とは『他者との出会い、インタビューと参与観察に基づく研究』。人生において、人とのつながりはどのような影響を与え、どのような意味をもつのか。それは、私の人生のテーマでもあります。人と出会って、どんな新しい自分を見いだすのか、それが楽しみなのです。」

「九州で築いた関係はいまもつづいています。継続して調査に協力くださる方や、友人としてつきあっている方もいます。九州は私を大きく成長させてくれた思い出が深い土地。『第二の故郷は』と聞かれれば、長崎か福岡と答えるかな。」

\*3 ドイツ国際協力公社 ドイツ政府が出資して設立された。技術協力プログラムや人材育成を行なう。

\*2 経済連携協定(EPA) 2つ以上の国または地域とのあいだで、財・サービス貿易の自由化のみならず、資本や人の移動、知的財産の保護経済関係全般の広い分野での連携強化を目的とした協定。

# 景観に潜在する 歴史のレイヤーをあぶり出す

歴史的な遺産や景観を保存、活用することは、地域活性化の重要なツールとして認識されつつある。いっぽうで、きちんと評価のされていない遺産や景観は、整備事業の過程で価値が失われたり、適切に活用されないうまま、まちの風景に埋もれていることもある。埋もれた価値を掘りおこすべく、増井正哉教授は「重層性」の視点から、景観の奥底に積み重なった歴史に目をむける

「重層性」ということばを、このころよく耳にしませんか。論文検索サイトでは、「重層性」や「重層的」の単語を含む論文がたくさん並んでいます。多様性(Diversity)シテイ)もまた、はやりのことです。重層性と多様性は、きょうの授業のキーワードです。

以前の授業で「奈良文書」をとりましたね。「その文化遺産がオリジナルであるかどうかは、その遺産に固有な文化に根ざして考慮されるべき」との見解を示す国際宣言で、一九九四年に採択されました。それまでのヨーロッパ第一主義の評価基準に一石を投じるもので、文化の多様性を尊重した保存の重要性を主張しています。

## 新旧の時代が共存する まちの景観

「重層性」とは、字義どおり「いくつもの層が重なっている」状態のことです。文化遺産の保全や活用、町並み保全にたずさわる私の研究分野では、「重層性」を「ほめことば」としてつかうことがあります。これは長野県の奈良井宿の町並みです。1 中山道の宿場町で、木製品の製造を産業としてきたまちの歴史性や物語が、現代の景観にはつきりと現れていますから、こういう風景はだれもがほめやすい。では、この写真はとうでしょう。2 新旧さまざま時代の建物が道沿いに混在していて、「白壁の町家と赤いタイル貼りの建物とがマッチしていますね」とは、ほめづらいですね。(笑) こちらはイングランドのコッツウォルズです。3 「英国の原風景」、「はちみつかいのかわいい村」などと称される町並みですが、じつは新しい建造物がかなりまじっています。

現代の町並みにさまざまな時代の建造物が共存するのは当然のこととて、どんな景観もすくなくならず重層的なものです。そうした町並みを、「各時代の建物が(重層的)に存在していますね」などという表現で評価することができます。これまでの町並み保全では、

### 授業計画

1. 歴史的環境の保存・活用をめぐる今日的状況
2. 歴史的環境の保存・再生の歩み
3. 歴史的環境の構成要素と保存・活用の制度体系
- 4~6. 建造物および建造物群の保存・活用
- 7~9. 景勝地・景観地の保存・活用
- 10~12. 史跡の保存・活用
- 13~14. 歴史的環境の保存・活用と国際協力



3 イングランド中央部に広がるコッツウォルズの町並み



1 長野県塩尻市にある奈良井宿の町並み



2 香川県高松市中部にある仏生山地区の町並み

「〇〇時代の町並み」として古い建物をそのまま残すことが基本でしたが、近年は、歴史的な建造物や地区にまつわる物語を手がかりに、現代的な感覚を取り入れて、新しい魅力として発信する事例が増えています。

さきほどの「ほめづらい」といった写真は、高松市仏生山町のとある路地の風景です。仏生山町は、松平家の菩提寺、法然寺の門前町として栄えました。仏生山街道の町並みは、いまではすっかり崩れてしまったのですが、その一角で、江戸時代からつづく老舗の呉服屋さんや古い店舗の一部を改装してカフェを始めました。目玉商品のサンドイッチは、地元の人たちだけでなく観光客にも大人気です。

地域ならではの新たなビジネスを展開したり、企業や商品の付加価値を高めたいときに手がかりになるのは、やはり歴史的な特徴です。とくに特徴のないように見える町並みも、「昭和の景観」として再評価する動きもあります。

こうした流れのなかで、「重層性」は重要な切り口です。景観が重層的であることを積極的に活用して、そこに新しい価値を見出すことができる。この考え方にたつと、「なんでもありだ」と思いかもしれませんが、重層的だからこそ、そのなかでなにを選び継承すべきかを、より深く考えなければなりません。

## 見える歴史と見えない歴史

景観の重層性には、歴史的な重層性と文化的な重層性がありますが、今回は歴史的な重層性を考えます。

4 私たちの研究内容やその手法を、専門家以外の一般の人たちに説明すると、「それは『プラタモリ』です」とかならず言われます。タレントのタモリさんたちが地元を歴史や地理の専門家とともにまちを散策しながら、町並みの歴史的な特徴をおもしろおかしく紹介するNHKの人気番組です。

私たちがここ数年調査をつづけている奈良市の「ならまち」が、この番組でとりあげられたことがありました。ならまちは世界遺産の元興寺の旧境内あたりを中心に発展したエリアで、人気の観光スポットです。顔なじみの地元の人たちは番組を見てよろこんでおられたのですが、私はちよつと複雑な気持ちでした。

「プラタモリ」は、いま目に見えるものをとおして、歴史的な重層性を発見するというものです。まちの見方としては、おもしろい視点ではありますが、私たちまちづくり研究の専門家は、「おもしろい」だけではすまされません。歴史や文化の重層性を見つかるだけでなく、それをどのように読み解き、現代のまちづくりに活かすか

が、私たちのしごとです。

まちを歩いていると、いろいろな時代のものが目にはいりますが、歴史的な重層性には、見えるものと見えないものがあります。「プラタモリ」でとりあげるのは、見える重層性ですが、さらに奥深くとらえれば、見えない重層性もあることに気づきます。

遺跡などはそのひとつですね。ここ京都のまちの地中には平安京の遺構がたくさん埋まっています。その面影は地表にはほとんど見当たりませんが、まちづくりを考えるうえで、「見える重層性」だけでなく、そうした「見えない重層性」も重要なのです。

## 意外な成り立ち！出羽島の集落

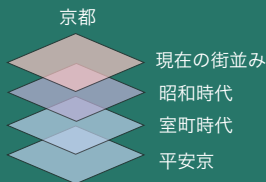
これは徳島県牟岐町の出羽島の航空写真です。5 北側にある漁村は、二〇二六年に国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されました。私たちはその保存計画づくりのために、二〇一四年から二年かけてこの漁村を調査しました。その過程で、多くの発見がありました。

住居の構造は一般的に、時代とともに背の低いものから高いものに変わると考えられています。もとは平屋だったものが、厨子二階になり、さらに本二階建てになる。そういう基準で集落を見渡して、背の低い建物が集まっている西側

### 4 歴史的な重層性と文化的な重層性

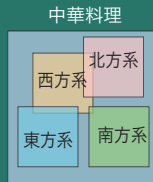
文化の交流と歴史の積み重ねが、まち・むらの景観をつくりだす。積み重ねを読み解くことが、景観を理解し活用する手がかりになる。

#### 歴史的な重層性



= 時系列に積み重なっている。時代ごとに追いやすい。

#### 文化的な重層性



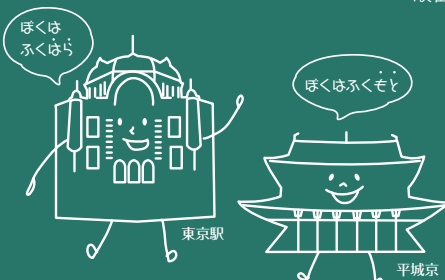
= 時系列ではなく、地域などの特性の積み重ね。順番に並べにくい。

### 「ふくはら」と「ふくもと」

建物の保存には、「復原」と「復元」の二つの方法があります。文化財の保全などに関わる私たちは、「ふくはら」、「ふくもと」とつかい分けています。大阪城天守閣や平城宮大極殿は「ふくもと」、東京駅舎は「ふくはら」です。このちがいがわかりますか。

「復元」は遺跡で発掘される建物の遺構から、いろいろな史料をつかって上部構造を考えることを意味します。

これに対して「復原」は、文化財建造物の修理のさいにもちいる言葉です。多くの場合、建物は長い年月のあいだに増改築や改造がくり返されています。「復原」は建物の改造の痕跡をもとに、改造前の姿を考えることを意味します。



がいちばん古いのだろうと考えていました。ところが、さまざまな古地図や史料を照らしあわせてみると、どうも違う。私たちには先入観があったのです。

そこで、すべての家の棟札を調べることになりました。棟札というのは、建築物の造営や修復のさいに、その年月日や大工さんの名前などを記した木製の札で、屋根裏の棟木のいちばん高いところに打ちつけてあります。それを一軒ずつ調べてまわりました。すると、古いと思っていた集落の家屋は、明治時代の後半に建てられたものだとわかりました。いろいろな高さの建物が残っている島の東側あたりがいちばん古くて、江戸時代にできた場所だったのです。

これは現在の宅地割を建てられた年代ごとに色分けしたものです。6道の両側に宅地が規則正しく並んでいますね。じわじわと人が移り住んだのだとしたら、こうはなりません。どこかの時点で、計画的なまちづくりがなされたのです。古地図や古文書などと照合した結果、江戸時代にはすでに、この島には二〇軒ほどの集落があったことがわかりました。ところが、安政南海地震（一八五四年）の太平洋波で、港の周りの多くの家が流されてしまった。島民たちは、集落を取り囲むように防波堤を造り、内側に道を整備して、その両側に

計画的に家を建てたのです。それが明治のはじめころです。そのあといくつかの建物は、二代め、三代めと建て替えられて、現在の町並みが形成されました。

私たちはこうした歴史的な重層性をていねいに読み解き、島民のみなさんにもその情報を公開しました。そのうえで、みなさんと相談しながら、それぞれのエリアの成りたちや歴史的な特徴をいかした保全計画をつくりあげました。

## 守るべきはいつの時代？

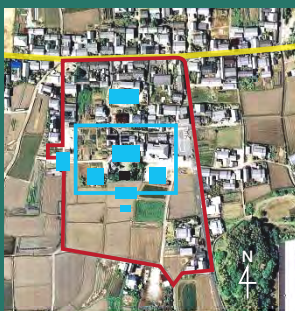
奈良県ではいま、「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」を世界遺産に登録しようと、取り組んでいます。

飛鳥寺は日本初の本格的な仏教寺院で、朝鮮半島から伝わった建築技術を導入して五九六年に完成しました。この写真は、飛鳥川をはさんで甘樫丘の高台から明日香村一帯を撮影したものです。飛鳥寺の伽藍も写っています。7

世界遺産の構成資産の一つとして登録申請を考えているのは、創建時の中心伽藍の範囲（赤線）で、水色で示しているのはその伽藍配置です。8境内の北側は飛鳥坐神社の参道（黄線）に接しています。平安時代の火災で伽藍は焼失し、跡地は畑地となり、神社参道にそって集落が形成されました。

飛鳥寺の価値を担保するのが飛鳥時代の伽藍跡だとすれば、参道から北側の古い町並みは価値のないものになってしまいます。写真を見ればわかるように、明日香村の家屋はすべて瓦屋根です。「明日香法」という独自の法律をもうけ、全村域を対象に厳しい景観規制をかけているからです。飛鳥時代以降の歴史的な経過や、こうした地域をあげての取り組みがあるからこそ、多くの遺跡やこの景観が残っているのだと私たちは主張していますが、それをユネスコに理解してもらえませんが鍵です。

また、私たちが「明日香村らしい景観」だと評価しているのは、飛鳥時代そのままの風景ではなく、高度成長期前の日本の村落を感じさせる原風景にすぎないという指摘もあります。これは、景観保存を検討するときによく話題になることです。地元での懇談の場でも、「研究者のみなさんは、明日香村の景観がだいじだというが、それはたかだか数十年前の心象風景を懐かしがっているだけではないか」と批判されることがあります。でも私には、「それがなぜ悪いのか」という思いがあります。明日香村には、遺跡と高度成長期直前の風景が美しく共存している。そうした集落の姿を残すこともだいじだと考えているからです。



8 飛鳥寺の遺構配置図



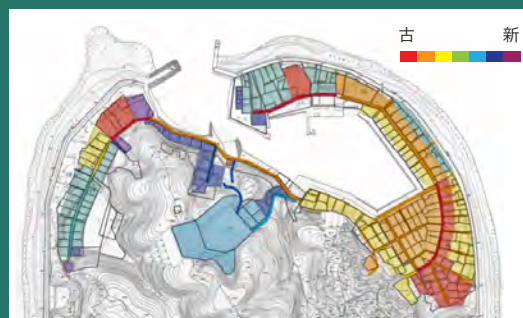
## 7 明日香村の風景

写真の中央付近の右側の大きな屋根の建物が現在の飛鳥寺本堂。(提供・明日香村 写真コンクール実行委員会)

## 5-2 2016年に国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された漁村 (地図データ: Google Earth)



5-1 徳島県海部郡牟岐町出羽島 (地図データ: Google Earth)



## 6 宅地の開発時期を示した図

赤に近づくほど古く、紫に近づくほど新しい



## 景観の重層性をレイヤーで考える

歴史的市街地の景観の重層性をどのようにとらえるのか、その考え方を模式図にしました。9-1 レイヤーはそれぞれにべつの時代を表わしていて、下から上に時系列で積みあがっています。上にゆくほど時代は新しい。文化的重層性はこうはゆきません。文化の評価はさまざまで、順位づけすることがむずかしいからです。

ある時代の建物を復元するには遺跡調査が必要です。その場合には、このうちの一つのレイヤーだけを引き出して、「この時代には、ここにこんな建物が建っていた」と説明するのが遺跡の復元検討の考え方です。9-1

さまざまな時代のレイヤーを歴史的に眺めることもあります。横からの視点ですね。9-2 AとB、BとCのレイヤーの関係性やそのあいだの変化をとらえるのです。これは、試掘調査に似ています。本格的な発掘調査の前に縦孔を深く掘り、各地層の深さや厚みを確認するのです。歴史の流れを重視する視点で、考古学だけでなく、文献史学にも有効な見方です。では、私たちが町並み保全計画などをつくる際には、どこから見るかという、重なったレイヤーを真上、つまり現在から見て、上の

レイヤーごしに下のレイヤーもぞこうとします。9-3 レイヤーは半透明のフィルムのようなもので、その透明度によって、下のレイヤーの見え方が変わります。まったく見えないこともあるし、いちばん下のレイヤーまで透けて見えることもあります。

たとえば、かつての水路が暗渠あんきょに変わったただけなら、その痕跡は残りますが、完全に埋めもどしてその上に建物がつくられたら、まったく見えなくなります。あるいは、出羽島での調査のように、いちばん上のレイヤーだけでは見えなかったことも、古い時代の文献や絵図を丹念に調べることで、下のレイヤーがすこしずつ浮かびあがってくることもあります。

### 層のつながりから価値を浮かびあがらせる

私たちのしごとは、現在の町並みに見え隠れする過去の痕跡を探しだし、それがどのレイヤーのことと関係するのかを調べることから始まります。それだけで終われば、「プラタモリ」と同じですが、だいたいなのはそのあとです。

景観は重層的に積み重なっているのですから、一枚のレイヤーだけを抜き出して語ることはできません。たとえば、一九七六年に重要伝統的建造物群保存地区に選定された京都市東山区の産寧坂なんざかは、

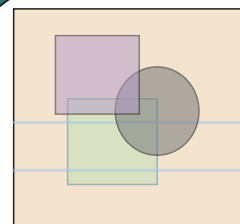
「道にそって立ち並ぶ江戸末期から大正時代にかけて整備された伝統的な京町家群が一带となって、すぐれた歴史的景観を形成している」ことが評価されています。でも、沿道の建物の多くは、時代の様式を反映して建てられてはいませんが、昭和初期や保存地区になったあとに手をくわえた家屋がほとんどです。歴史的な重層性を無視して、江戸時代末期や大正時代の様式をまねて、そのまま復原すればよいかという、それでは現代の生活から切り離された「死んだまち」になってしまいます。

私たちのしごとは、いちばん上にさらにもう一枚のレイヤーを重ねて、そこに過去と現代とをつなぐ補助線を引くことなのかもしれません。さまざまな時代の建物を調査し、絵図や古写真などに見くらべながら、現代の景観との関係のなかでその価値を考える。それが私たちの重層的なものの見方です。新しいレイヤーになにを描くのが私たちの課題なのです。

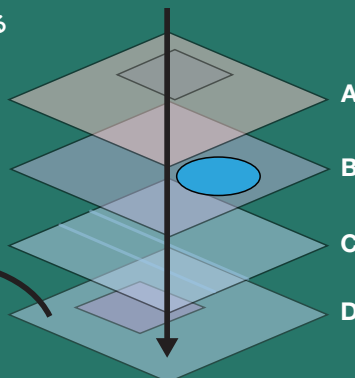
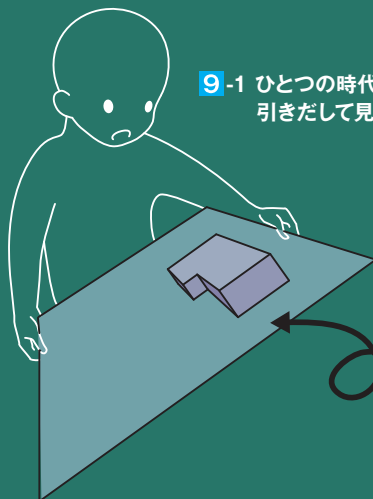
みなさんの地元の見慣れた町並みも、重層的な視点でとらえなおしてみると、いろいろな発見があるはず。目に見える重層性だけでなく、見えない重層性にも思いをはせてください。新しいまちの魅力が見つかるかもしれません。

二〇一七年二月五日(金)五限  
国際高等教育院棟 三三号室

9-3 時代の積み重なりを上(現在)から見てみる



9-1 ひとつの時代を引きだして見てみる



9-2 時代の層を横から見てみる

9 歴史的市街地の景観の重層性のとらえ方

歴史的市街地の分析方法は視点の取り方によって、復元的(9-1)にも縦年の(9-2)にもなる。景観分析(9-3)は現在に視点を置く。



# 京都大学農学部・ 農学研究科 附属農場

## 果樹



**生産物** ナシ、カキ、ブドウ、モモなど。  
試験的にカンキツ類やナッツ類も育成

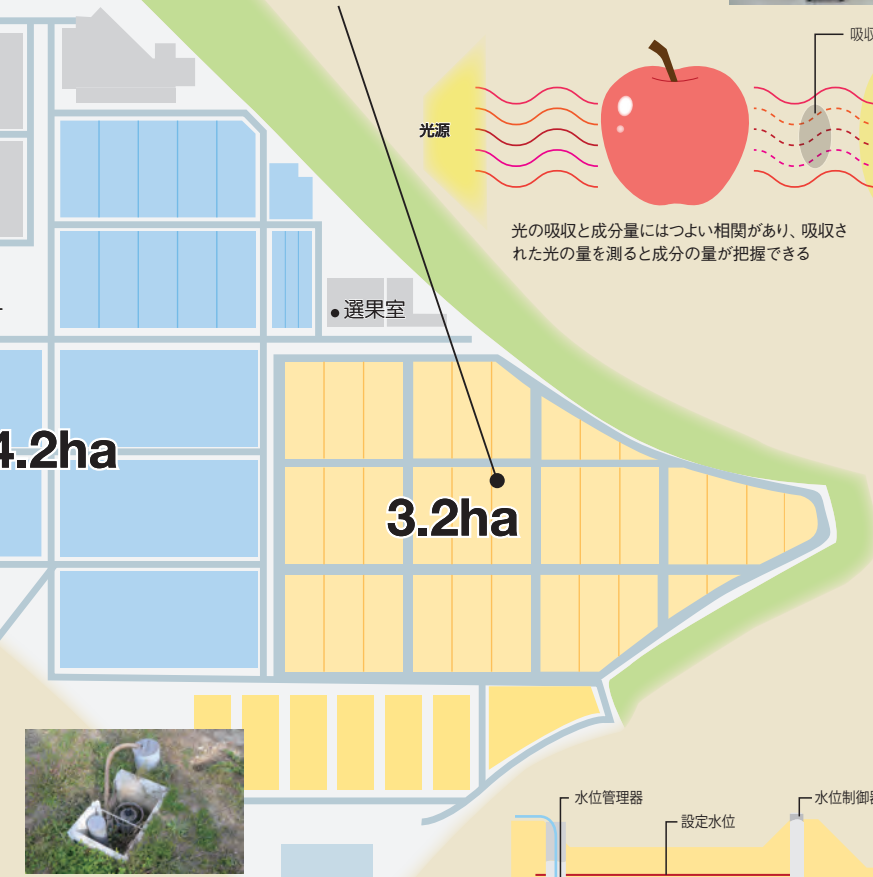
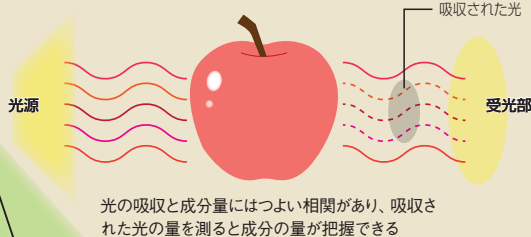
できたばかりの農場なので、まだまだ小さい木が多いです。カキは平核無（ひらたねなし）や富有柿、太秋などメインの6種類のほか、100種類ちかくの品種を保存しています。オープンファーム当日に売られていたのは平核無です。すぐに完売しました。



私のイチオシの品種は太秋。甘くておいしいですよ。 カキの品種を保存する

### じまんの設備 非破壊光センサー選果機

収穫した果物のサイズや糖度などの品質を測定する機械。目では見えない糖度や熟度を客観的に測定することで、より精度の高い選果ができるようになり、信頼性の確保につながっています。



現代の農業生産は、多くの化石燃料や電力を消費している。エネルギーとなる資源の枯渇や、廃棄物の処理の問題にくわえ、炭酸ガスの排出は環境に大きな負荷を与えている。京都大学農学部・農学研究科附属農場(以下、京大農場)では、自然エネルギーを活用した農業生産を実証するとともに、自然エネルギー生産と食料生産の併産をめざした「グリーンエネルギーファーム」モデルを構築している。2016年4月に京都府木津川市に移転し、新たにスタート。さまざまな最新の農業施設をそなえており、次世代型農業技術の開発と実証の拠点として教育・研究活動に貢献している。10年以上にわたり、京大農場で研究をすすめてきた北島宣教授の案内で場内を探索した

案内役

## 北島 宣 教授



京大農場は  
日本一!

きたじま・あきら

1977年に京都大学農学部卒業。京都府立大学農学部助手、高知大学農学部助教授、京都大学大学院農学研究科(附属農場)助教授などをへて、2008年4月から同大学院農学研究科(附属農場)教授。おもな研究対象は、カンキツやカキなどの果樹類。

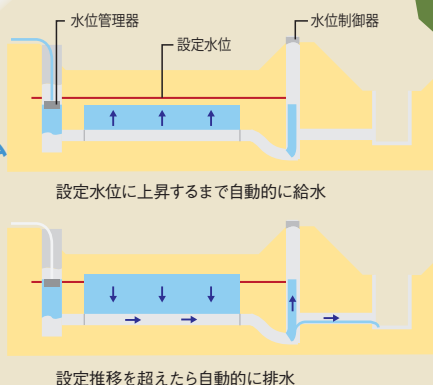
### 京大農場の歴史

京大農場は、1923年の京都帝国大学農学部の創設にともない、1924年に現在の北部構内に開設。1928年に高槻市に移転し、以来、多くの農業研究者や技術者を送りだしてきた。約90年の歳月をへて、農場施設の老朽化がすすんだことにくわえ、新しい施設を建てられる広い場所を求めて、2016年4月に木津川市に移転。

### じまんの設備 地下水制御システム FOEAS\* (フォアス)

稲刈りのあと、つぎの田植えまでのあいだに、ほかの作物を栽培すれば、圃場の利用効率が上がります。このフォアスなら、作物に応じて土壌の水分をコントロールできるので、水田と畑との転換がかんたん。畑の作物は湿害に弱く、水稲は干ばつに弱いので、フォアスの導入で、湿害や干ばつ害の両方を軽減して、効率よく栽培できます。

\* FOEAS : Farm Oriented Enhancing Aquatic System



### 京大農場の生産物を購入できます

米や野菜、切り花など、農場の生産物を本館1階で販売しています。ホームページから「きょうの販売品目」を確認できます。

販売日時 月～金

(祝日・年末年始・夏季休業日をのぞく)

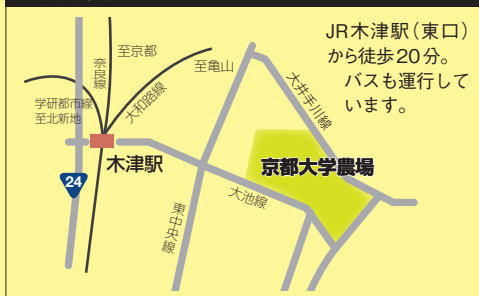
10:00～11:30、13:15～16:00



### 「次世代農業マイスター」を育成します

社会人むけの教育プログラムを2017年度から実施しています。教員の専門分野や最先端の研究を学ぶ座学と、実際に作物を栽培する実習とで構成され、一定時間の講義を履修し、所定の評価を得た人には履修証明書が交付されます。初年度は、農業関係の仕事に就きたい人や、企業から派遣された方など、21名が受講しました。

### 京大農場へのアクセス





## そさい 蔬菜



**生産物** トマト、イチゴ、アスパラガス、タマネギ、カリフラワーなど

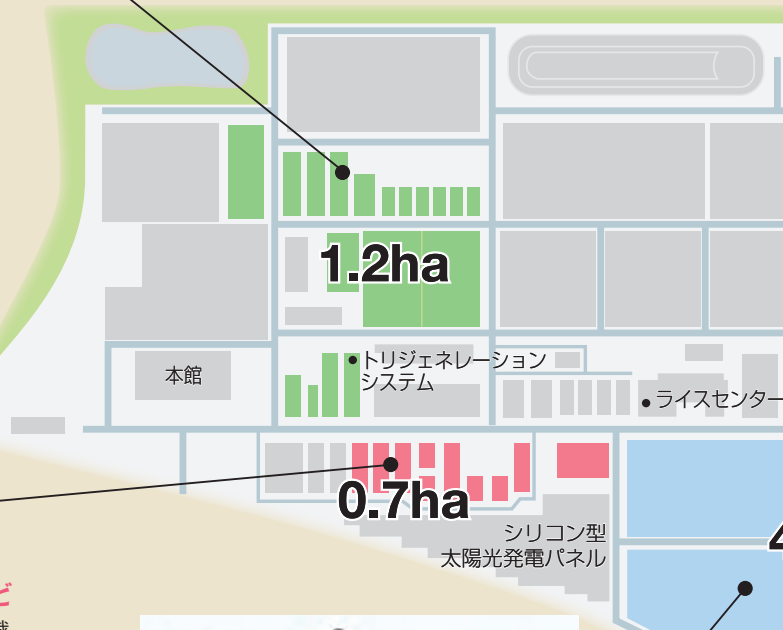
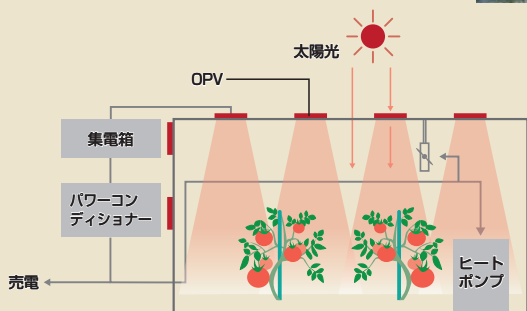
イチゴは「さがほのか」と「さちのか」をおもに栽培しています。ハウスにはセイヨウミツバチを飼育して、受粉をうながしています。施設に設置されたハウスには、温度や湿度の高低、二酸化炭素の濃度を自動で管理できるシステムを導入しています。



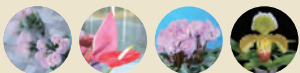
カリフラワー畑

## じまんの設備 OPV:Organic Photovoltaic (有機薄膜太陽電池)

光を通す太陽光発電のパネルを温室の上部に設置しています。パネルを通った光は、作物の光合成につかわれるだけでなく、同時に電気エネルギーを生みだします。試験段階の部分も多く、発電量は充分ではありませんが、実用化にむけて、トマトの生育状況や、ハウス内の環境、電気の発電量と消費量をデータ化し、実証実験をすすめています。



## かき 花卉



**生産物** バラ、アンズリウム、シクラメン、コチョウランなど

バラは1,000株を栽培し、1年で4万本の切り花を、アンズリウムは500株を栽培し、1年で2,000本の切り花を収穫しています。アンズリウムは、原産地の熱帯雨林では薄暗く高湿度の場所に生育します。本来の環境に近く、ハウス内を遮光して薄暗くし、温度は15度以上に保つように制御しています。

## じまんの設備 トリジェネレーションシステム

京大農場では、バラの周年栽培にとりくんでいます。冬期の栽培では、寒さでバラが弱ることのないよう、一日中、ハウス内を暖かくする必要があります。ハウスでは、ガスエンジンを稼働して電気をつくりますが、そのさいに発生する温水はハウス内の加温につかわれ、排ガスからは二酸化炭素を抽出して、ハウスに供給し、光合成を促進します。



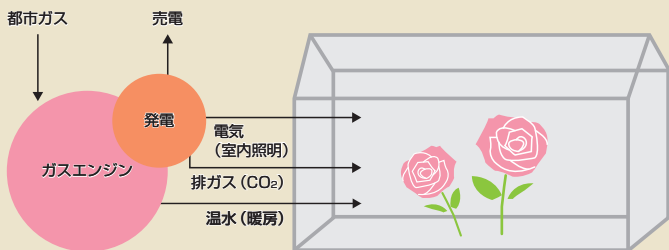
## 水田作物



**生産物** イネを中心にダイズ、ムギ類、雑穀類など



1枚がおよそ5反(0.5ha)の面積の水田で、玄米なら約1.8トン、白米にすると約1.6トンぶんのイネを栽培しています。日本人が1年に消費するお米の量は、大人1人あたり60キログラムといわれていますから、大人25人の1年ぶんです。おもにヒノヒカリを栽培しています。稲穂を玄米にするライスセンターもそなえていますから、授業では田植えから収穫、精米までを体験できます。



バラハウスの環境制御。発電した電気は農場内の栽培施設などで利用される

## 京都大学農学部・農学研究科 附属農場

京大農場の約25ヘクタールを有する敷地には、水田や畑地、果樹園、園芸用温室が配置されている。農学研究科の生産管理科学講座がおかれ、この講座の教員が中心となり、教育・研究に携わっています。農業や食糧に関わる諸課題の解決に向けて、環境への負荷を低減する農業技術や、高品質で高収量な食物の栽培技術の開発、実践をすすめています。



おまかせください!

13名の技術職員が、農作物の栽培管理や農業機械・施設の維持整備、研究や実習の補助に携わり、教員をサポートしています。水田班、蔬菜班、花卉班、果樹班の4つのグループがあり、それぞれ専門的な農業の技術や知識をそなえています。

## 栽培から収穫、調理まで、一連の実習が可能です



文部科学省の「教育関係共同利用拠点」に認定されており、他大学や高等専門学校等の学生も、京都大学の学生と同じ条件で京大農場の実習科目を受講できます。受講生には栄養学科などの食に直接に関係する学生だけでなく、社会学や経済学を専攻する学生もいます。「食」はすべての人に関わる事ですが、食卓にならぶ農作物がどのように生育し、栽培されているのかを知る学生は少ないでしょう。

京大農場では、農作物の栽培、収穫から、収穫した作物の調理まで、食にまつわる一連の流れを実習で体験できます。環境エネルギーや経済など、さまざまな視点で農業と食を考えるきっかけにしてほしいです。



# グリーンエネルギーファームってなんですか？



現代の農業生産は、「エネルギー投下型」。たとえば、トマトやキュウリの旬は夏ですが、食料品店に1年をとっていつでもなっています。これを可能にするのは冬期の暖房ですが、そのために



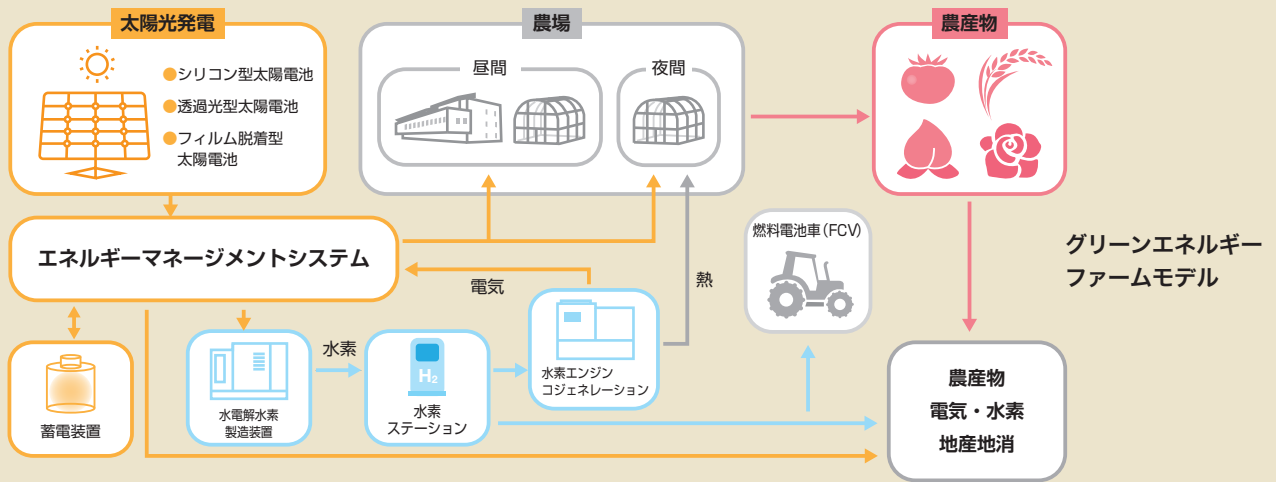
シリコン型太陽光パネル。自家発電した電気は、農業施設や本館の電気、空調、研究用電源に使用する

たくさんの化石燃料をつかい、膨大な量のCO<sub>2</sub>を排出しています。大型の農業機械を動かすのにも化石燃料が使用されています。このサイクルから脱却しようと、京大農場では、農地でエネルギーを生みだし、そのエネルギーをつかって、生産ができるような新しい農業システムの構築をめざしています。このエネルギーを地産地消するコンセプトを、「グリーンエネルギーファーム」と名づけました。

京大農場では1年をとって昼間の電力をまか

なえる規模の太陽光発電パネルを設置し、電気を生産していますが、あわせて電気を蓄える、蓄電の研究も重要です。もっともエネルギーをつかうのは冬の暖房ですが、もっともエネルギーを生産できるのは日射しの強い夏です。夏に生産したエネルギーを水素に転換して蓄え、冬にエネルギーとしてつかう新たなしくみをつくろうと、他分野の専門家とも協力し、取り組んでいます。工学やエネルギー環境学の研究者や、このコンセプトを政策として提言することも視野に入れ、経済学の専門家にも協力いただいています。

このモデルを実社会で実用化するには、企業や自治体の協力も必要です。2017年に、大学の研究者や企業、地方自治体などが参画する「グリーンエネルギーファーム産学共創パートナーシップ」を設立しました。これから農業関係の分野に取り組みたいという企業や、たくさんのエネルギーを生産しているけれど、有効活用できていないという企業が集まり、ともにいろいろな可能性を探っています。



## 日本の農業がかかえる問題



日本の「食」や農業は、いま、農業従事者の高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加など、多くの問題をかかえています。それにともなって食料自給率が下がっていることも問題です。食料を海外からの輸入に頼っていると、万が一の事態に、深刻な問題をひきおこす可能性があります。だから、「自分たちが食べるぶんは自分たちでつくる」ことがだいじ。

あまり知られていませんが、日本の果樹や米の品質は世界に誇れるものです。とくに温帯の果樹であるリンゴやモモなどの日本産の品種の品質は、世界でもっともすぐれています。それだけの生産技術があることを、もっとみなさんに知ってほしいですし、大学や企業を巻きこんで、海外にも展開してゆきたい。海外に展開することで生産者の収益が上がると、農業に従事する人の数も増えるかもしれない。そのようなお手伝いもできたらと考えています。

## 京大農場の1日を体験！



京都大学の教育研究施設を一般に公開したり、公開講座や講演会を実施する「京大ウィークス」の期間に、オープンファームを開催しています。大学の研究施設というと、「私には関係ない」と思われる方も多いですが、施設の特徴や研究内容を知ってもらい、みずかに感じてほしい。稲刈り体験や実験をとおして、子どもたちに生物学や農学に興味をもってもらえるきっかけになることをめざしています。

2017年のオープンファームの来場者は約

800人。木津川市周辺の方はもちろん、大阪府や滋賀県などから参加される方も増えてきました。京大農場には最新設備がそろっています。とくに、再生可能エネルギーをつかった新しい農業モデルをすすめているのは、日本で京大農場だけ。いまの農業はこんなに進歩しているんだと、多くの人に知ってもらおう機会になればと思います。



稲刈りから稲木干しまでの作業を体験



研究の一部を紹介するコーナーも



農業機械の展示は子どもたちに好評

# 京都大学をささえる人びと

京都大学 総合技術部次長  
(兼防災研究所技術室長)

**高橋秀典さん**

## 守備範囲は日本全土、 マネージャーは飛び回る

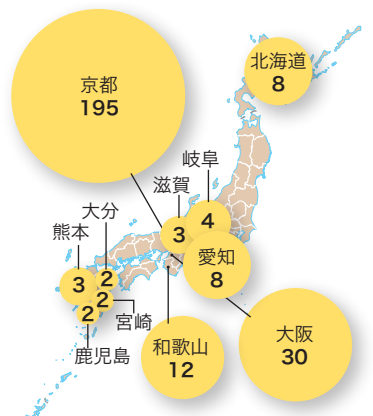


図1 技術職員の働く地域と人数

約270人の教室系技術職員は日本各地で働く。北海道から鹿児島県まで、教室系技術職員が常駐しているキャンパス・施設は27ある。(2017年6月1日時点)

京都大学の研究・教育活動をささえる教室系技術職員\*1。京都大学総合技術部はその技術職員の人材育成と業務にまつわるさまざまな課題解決のための全学組織として1991年に設置されたが、部局をまたがるその特殊性から、大学の組織図にもその名称はない。そんな裏方業務を実務責任者として束ねる苦勞とやりがいを、次長職を務める高橋秀典さんにたずねた

インタビューの場としてとおされた部屋には大きなスクリーンと見えない機材。「あしたは防災研究所の技術職員の会議です。附属施設五か所をインターネット会議でつなぐんです」と話す高橋さんは、防災研究所の技術室長でもある。

### 出版社での見聞を活かして

発足当初から、総合技術部の部長は工学研究科長が兼務してきた。「組織のうえで、部長がすべての技術職員を統括する立場にありますが、個々の課題や要望を多忙な部長が吸い上げることはむずかしかったのです。そこで二〇一六年度から、会議の運営や人事の実務担当者を、技術職員が担う次長職を設置することに。その初代次長に選ばれたのが高橋さんだ。

京都大学に着任前は、東京の出版社で編集者として働いていた。「仕事は充実していましたが、いつかは学生時代を過ごした京都にもどりたいと考えていました」。

そんな折、防災研究所で技術室長を公募することを偶然に知った。土木技術者むけの雑誌などをつくるなかで学んだ経験を活かせると感じ、一念発起。二〇二一年一月、室長に着任後は、出版社時代に取材をとおして見聞きした多くの企業の経営論や組織論、マネジメントのノウハウを応用し、防災研究所技術室の業務の改善をすすめた。次長への抜擢はその実績を評価さ

れていたことだった。

### 勤務地も勤務内容もさまざま

北は北海道研究林、南は宮崎県の幸島観測所や鹿児島県の桜島火山観測所まで、京都大学の技術職員は日本各地の附置施設で活躍中(図1)。遠隔地では職員の数が少なく、現場を長く離れられないため、打ち合わせのために高橋さ



たかはし・ひでのり 1959年に福島県に生まれる。京都大学農学部農業工学科卒業後、福島県庁、日経BP社をへて、2011年に防災研究所技術室長に。2016年から現職も兼務。

技術職員の業務のはば広さは、京都大学ならではの広さだ。「実験機器の管理から実験用マウスの飼育まで、同じ技術職員とはいえない」と、そんなことをしているの。「えっ、たがいに驚くほど、まったく異なる業務をしています」。

### 限られた人材の有効活用を

「約二七〇名の教室系技術職員をとりまとめる責任は重いですが、教員や事務の方がたと協力していちから組織を再構築するのは、大きなやりがいです」。なかでも、技術職員の業務実態に即した勤務評定基準を導入したことは大きな成果だと自負する。「技術職員の多岐にわたる業務を、それぞれの職場の実情を反映した評価軸できちんと評価することで、一人ひとりのやりがいにつながると期待しています」。

総合研修や専門技術群研修などを通じて職員間の交流をさらにすすめる、人材活用につながることをこの目標だ。「ある技術をもった人材が必要になったときに、その部局で新規に採用するよりも、ほかの部局から派遣するほうが効率がよい可能性がある。そのマッチングをうまく調整するには、マネジメント力のある人材が欠かせない。そうした能力が身に着くし、くみを整えることも、私の役目です」。そう、マネジメント力もまた、京都大学をささえる技術の一つなのだ。

第1専門技術群 (工作・運転系)	第2専門技術群 (システム・計画系)	第3専門技術群 (物質・材料系)	第4専門技術群 (生物・生態系)	第5専門技術群 (核・放射線系)	第6専門技術群 (情報系)
工作機械の設計・製作・管理、粒子加速器・望遠鏡・船舶の運転など	測定機器の設計開発、研究用システムの構築、遠隔地施設の維持管理など	核磁気共鳴装置・電子顕微鏡の保守管理と測定、学生実験の指導など	実験用動物の飼育・栽培、フィールドの管理、組織学的解析など	粒子加速器・原子炉の管理など	スーパーコンピュータの管理、ネットワーク環境の企画・運用・管理など

図2 総合技術部の6つの専門技術群

\*1 教室系技術職員  
技術職員のうち、機械の運用や実験データの解析、情報システムの管理などを担当する職員。京都大学には、ほかに建物や設備に関する業務を担当する施設系技術職員がいる。  
\*2 フィールド科学教育研究センター  
\*3 野生動物研究センター  
\*4 防災研究所

# いつか「できる自分」を夢みて

## 体操部

主将\*取材員 島元謙吾さん  
(医学部3年生)

「総合体育館の地下」という情報さえあれば、体操部の練習場所へは迷うことなくたどりつける。階段を降りるとすぐに、広々としたフロアに並んだ鉄棒や平均台、つり輪などの器具が目にとびこんでくるからだ。「器具は常設しているので、開館時間内ならいつでも練習できます。強豪校並みの環境ですよ」。主将の島元謙吾さんは誇らしげに語る。重い器具を倉庫から出して、組み立てる必要がないので、練習時間を確保しやすく上達も早いというわけだ。それを裏づけるように、2017年の七<sup>\*1</sup>大戦で男子は二連覇を達成。「特殊な技能が求められるという先入観で、敷居の高いスポーツに思われがちですが、部員の半分は大学からのスタートです。真剣に取り組めば、確実に上達できます」。ことばの節々に情熱が宿る。話を聞くうち、その発信源がみえてきた。

「伸身の新月面が描く放物線は、栄光への架け橋だ<sup>\*2</sup>」。日本中が歓喜した2004年アテネ五輪での体操ニッポンの復活に、当時小学生の島元さんは魅了された。高校入学後は体操部に入部。体操に没頭できるとよることだのもつかのま、部員は3年生3人と島元さんのみ。その3年生も、夏休み前に引退。「それから2年間、先輩も同期も顧問もない状態で、広い体育館の片すみで黙々と練習する毎日でした」。練習方法は他校の選手の見よう見まね。それでも、不思議とつらくはなかった。「宙返りや倒立を確実にマスターしたときはうれしかった。どちらも基礎的な技ですが、努力をすれば成長できると実感できた」。体操への熱は冷めることなく、練習環境が整う京都大学に進学。

「入学してからの上達度は高校時代とはくらべものになりません」。得意の吊り輪ではC難度のヤマワキにも挑戦できるほどに。「仲間からの指摘や、練習動画のチェックをとおして微修正を重ねています。ヤマワキはまだ形にすらなっていませんが、いずれはかならず自分のものにしたい」。確実にこなせる技で構成する本番とは違い、練習では高難度の技に重点的に取り組む。失敗、失敗、失敗の連続だ。しかし、けっしてあきらめない。「体操は点数で優劣をつけますが、自分がどれだけ納得できるかがだいじ。できない技を修得できたときの喜びは、なにものにも代えがたいですよ」。

\*1 七<sup>大</sup>戦  
「全国七<sup>大</sup>学総合体育大会」の略称。旧帝国大学の7大学が合同で開催する体育大会。

\*2 「伸身の新月面が描く放物線は、栄光への架け橋だ」  
アテネ五輪日本体操男子代表の金メダル獲得が決定的となった瞬間の実況コメント。

\*3 ヤマワキ  
元体操選手、山脇恭二があみだした技の名。つり輪では「前方かかえ込み2回宙返り懸垂」を行なう。つり輪以外にも、あん馬、鉄棒、平行棒にも「ヤマワキ」を冠する技が存在する。



第100回の寄席を記念してつくられた京大落研の系図。現在部員は30名をこえるが、むかしは数名しかおらず廃部の危機にさらされたこともあったという

のはじめに披露した寄席で周囲から褒められたんです。「うまくなったんじゃないか!？」と勘違いして、落語にのめりこみました」。

それからは、依頼があればどこでも余興を催し、笑いを届けに奔走した。神社の秋祭り、政党の集会、パチンコ店建設反対運動寄席など、会場は多岐にわたる。「事情を聴かずに舞台にあがると、日本語のわからない外国人観光客ばかりだったこともあります」。会場で巻き起こる笑いをモチベーションに、落語の研究に励んだ。プロの寄席に足しげく通い、その挙動を見たり、歌舞伎や狂言などの伝統芸能の公演にもすすんで足を運んだりもした。

「落語はほんとうにむずかしい。でも、おもしろいんです。ネタは長年にわたり披露されているのに、落語ファンは同じネタをなんど聴いてもおもしろいと感じる。演じる人の個性や人生が落語ににじみ出るからです。いつかお客さんに『祇園花月より京大落研にいこう』と言わせてみたい」。真剣に語るときは、えびす顔の細い目がパッと開き、精悍な顔になる。周囲の部員に見守られるなか、オチをつけるのも忘れなかった。「欲をいえば、テニサーくらい女の子が入ってほしい」。せまい部室のなかでどっとわいた。



「部員をきびしく指導するようす」を模したようす。部室はきれいとは言いがたいが、居心地がいい。「ゆるさと自由さが特徴です」



# 輝け! 京大 スピリット



男子6種目、女子4種目のすべての器具が常設されており、21時の消灯まで自由に練習することができる。「授業のあいだの空き時間にも練習に取り組むことができます」



七<sup>大</sup>戦時の集合写真。「団体戦は、自分が不得意な種目を、ほかの部員がカバーしてくれるのが魅力です」

# 果てなき空間のなかで、 一粒の粒子に迫る

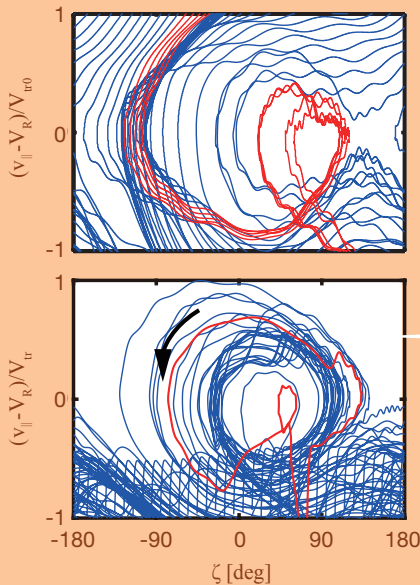
優秀女性研究者奨励賞

久保田結子さん (工学研究科 博士後期課程3回生)

「直観的に『宇宙だ』と思いました」。大学でしかできないテーマを探すなかで、久保田結子さんに研究者として輝く自分を強くイメージさせたのが「宇宙」だった。「地球には固有の磁場があり、その影響で地球付近の高いエネルギーをもつプラズマ粒子は地球を取り囲むように高速で動き回ります。このプラズマ粒子群を放射線帯とよびます。放射線帯は宇宙飛行士の被曝や、人工衛星運用の障害を引き起こす場合があります、その発生メカニズムを知るとは人類の宇宙環境利用を進展させるうえで必要不可欠です。放射線帯の増減に影響する現象を探るのが、私たちの研究です」。

放射線帯の変動原因として久保田さんが着目するのが、放射線帯粒子よりも大量に存在する低いエネルギーのプラズマ粒子によって生成される電磁波動だ。「大量の粒子が作り出す波動が一部の特別な粒子を加速させて、放射線帯を構成する高速粒子を生み出すのです」。この現象を証明し、京都大学の優秀女性研究者奨励賞を受賞した。「30年前までは、対象の粒子の動きを単純化して全体の動きを捉える『近似の研究』が主流でしたが、それでは実際の観測結果に現れる急激な変化は表現できません。現在のスーパーコンピュータの性能ならば、粒子一つひとつの軌跡を厳密に求めながら放射線帯全体の変化を定量的に確認できるはずです」。

現在、その放射線帯全域を評価できるシミュレーターを開発中だという久保田さん。「この手法に着手できるのは、数十年間でパソコンの性能が飛躍的に上がったからです。過去の研究者が近似でしか表せなかった現象もいまならすべて計算できるはず。この研究が地球物理学の発展の一端を担えたらとてもうれしいです」。「この研究の分野では、私たちは新興勢力です。しかしそのぶん、いまだだれも確認していない現象や結果をいちばんに発表できます。この研究に興味を示された著名な先生が学生ではなく『一人の研究者』として私と議論して下さる、研究をつづけてよかったと思う瞬間です」。「京都大学には研究のかたわら、多くの得意分野や趣味をもつ人が多いです。なにごとにもエネルギーで、尊敬できる方がたくさんいます。私も追いかけてみたい。そう聞いて、波動粒子の話の思い返した。個性豊かな人たちの集う京都大学という空間にいる彼女が、仲間との交流や学会での刺激を得て、勢いよく突き進む姿は、一粒の加速粒子と重なる。シミュレーション研究のトップをねらう、久保田さんの加速はとまらない。



特徴的な粒子の速度空間上での軌跡を表した図面。赤線で示した螺旋の動きは近似で解くとでこない。この動きによって急激な加速が起こる。研究結果は国内外の学会で多くの賞を受賞。これらの成果が認められ、平成29年度の京都大学総長賞を受賞した



ランチは宇治キャンパス向かいにある「たま木亭」のパンがお気に入りだという



教授に論文をプリントしたクッションをプレゼントした。渡した途端、突如、ミーティングがはじまった



2016年12月にジオスペース探査衛星「あらせ」の打ち上げを、研究室の有志と鹿児島まで見に行った。「こんごは『あらせ』が取得したデータと、シミュレーションの結果とを比較・検討したいと考えています」

頂上落研



## 京大落研にいこう!

落語研究会

部長 取材時 兄藤 鑑さん  
(理学部3回生)

京大落語研究会OB、笑福亭たまさんの軽快な語り口で会場が爆笑の渦に包まれるなか、「楠木亭頂上落研」こと兄藤鑑さんは手に汗を握り、舞台袖から演目を見つめていた。むりもない。1968年の創部以来つづく「京大寄席」の記念すべき100回めの興行で、部長としてトリを飾ることになったのだから。

「緊張するタイプなんです。えびすさまのような笑顔を浮かべながら寄席をふりかえる兄藤さん。その表情を見ているだけで、なぜかグッと笑ってしまいそうになる。当日の出来はどうだったのか。「上方落語の『土橋万歳』を演じて、もう大爆笑の嵐でした」。発言するやいなや、周囲の部員から矢のようなツッコミが入る。「どこがや! 途中でとばして同じセリフを2回言うたやん!」。どうやら、あまりうまくはいかなかったらしい。しかし、2日間にわたり開催した寄席はのべ750人を集客。戸月銭100円とはいえ、学生の寄席でこの記録は異例だろう。「満員の会場で漸ができたことは財産です。落語の魅力が伝わったならうれしい」。落語の世界にどっぷり浸かる兄藤さんだが、大学入学時はまったく興味がなかったという。

「友だち探しをかねて、落語好きの知人についていったのがきっかけでした」。ところが、いっしょに入った知人は1週間後に退部。あらたにコミュニティを探す気力もなく、気乗りしないまま落語に挑戦してみることに。「正直いって、1年間は惰性で続けていましたが、2回生

\*笑福亭たま  
大阪府貝塚市生まれ。1998年に京都大学経済学部卒業後、笑福亭福笑に入門。上方落語若手噺家グランプリ優勝をはじめ、数かずの賞を受賞。



京都大学では、研究テーマや研究方法を自分で考えて選ぶ場面が多いという。「研究したいという思いをもつ留学生にとってはめぐまれた環境です」



バゴー山地の焼畑と二次林におけるNTFPとしての野生植物。イさんが注目する植物はコンニャク。焼き畑での収穫がない5月、6月に採れるので、村人の収入源になる

↓コンニャクイモ



## 日本で自信をつけて、ふたたびミャンマーへ

Ei (イ) さん  
(アジア・アフリカ地域研究研究科  
東南アジア地域研究専攻 博士一貫課程5回生)

ミャンマーの中央部を南北に走るバゴー山地で、政府主導のもとに大規模な木材のプランテーション開発がすすめられている。しかし、そこで働く村人は、労働賃金は得られても、木材を売ることはできない。いっぽう、村人所有の焼畑で栽培するNTFP (Non-Timber Forest Products) ならば、売って得た利益は村人の収入になる。NTFPとは、森林地域で産出される、樹木、植物、動物など、木材以外のさまざまな森林産物のこと。イさんは、2012年から継続的にバゴー山地の村に足を運び、NTFPの収穫量と村人の生計との関係を研究している。

1回の調査で3か月ほど滞在し、植生調査や聞き取り調査を重ねるといふ。「ミャンマーの大学の授業では、数人ずつのグループで森に入りましたが、いまは一人で森を歩きます」。獣に出くわすのでは、と心配ばかりする私をよそに、イさんは楽しげにつづける。「ごまかされたりだまされたりする都会よりもよっぽど安全で

すよ。村人たちは正直で誠実で親切」。

調査地のカレン族はカレン諸語をつかうが、イさんとは公用語のビルマ語で会話する。イさんには、ビルマ語をつかえない村人といちはやく打ち解ける秘訣がある。「村人には、敬語をあえてつかわず、初対面でもフランクに話しかけるようにしています」。

ミャンマーの大学を卒業し、環境保全林業省森林局で生物多様性の保全や劣化した森林の回復などに携わった。「当時の私は、木材生産こそ経済価値があると信じていましたが、留学後にバゴー山地を調査するなかで、そうではないと気づいたんです。彼らは木材だけでなく、藪に生える灌木や薬草などを日常生活に役だてる方法をすでに実践しています。森をよく知る彼らのくらしは、生態系や環境の保全に適しています」。

日本に来て6年。流暢な日本語で応じるイさんだが、当初は日本語もままならず、不安だったという。日本語で積極的に話しかけるように努め、コンビニでのアルバイトも始めた。「遠い国での一人暮らしは大きな自信になりました」。困難に直面しても、ひるまず立ち向かえるようになったという。

「飲み会」は日本で学んだ交流術のひとつ。ミャンマーにはない慣習だといふ。「ともにお酒を飲む時間を重ねるほど、仲よくなる。3月で京都大学を卒業し、母国の森林局にもどります。のこりわずかですが、研究室の仲間とすごす時間を楽しみたい」。異国の文化を受け入れ、心を開いて関係を築こうとするイさんなら、どんな場所でもしっかりと根をはって、彼女らしい花を咲かせるにちがいない。

# 輝け！ 京大 スピリット



19世紀にミャンマーがイギリス領に併合されてから、バゴー山地では木材となるチークの生産がさかんになった



日本に来て驚いたことは、教授と学生の対等な人間関係。所属する研究室の竹田晋也先生(左)は、気さくに接してくれる

調査地に滞在しているあいだは、村人に食材をわけてもらい、いっしょに料理する



友人と祇園祭へ。研究だけでなく京都での生活も楽しんでいる。お気に入りの場所は清水寺という

有朋自遠方來

京都大学基金では、卒業生をはじめ保護者や地域、企業・団体の皆様からいただいたご寄付を、教育・研究・社会貢献のために活用しています。  
**【お問い合わせ先】** 京都大学基金事務局 TEL.075-753-2210 <http://www.kikin.kyoto-u.ac.jp>

# まきんのまほん

No.3

## 「学生支援」のために活用しているのをご存じですか？

学生たちが経済的理由によらず修学を続けられるように、また、心置きなく新しいことにチャレンジできるように、京都大学基金にいただいたご寄付を、さまざまな学生支援のために活用しています。

### 企業寄付奨学金制度「CES」

2017年度に新たに設立した企業寄付奨学金制度「CES: Kyoto U.Fund-Corporation Endowed Scholarships」は、本学卒業生が活躍する民間企業からご寄付をいただき、学業優秀な学生が経済的理由で修学を断念することがないように支援する給付型奨学金です。2年めとなる2018年度は新たに5社が加わり、12社よりご協力いただいています。



協力企業で活躍するOB・OGとの懇談会を開催

CESでは協力企業との交流会やOB・OG懇談会を開催し、奨学生が各界で活躍する卒業生たちの姿に身近にふれる機会を設けているなどの特徴があります。

京都大学基金にとって、卒業生と大学との架け橋となって、両者がともに学生をささえていけるような仕組みをつくることは重要な役割です。これからもCESを拡充させ、さらなる学生支援の充実に注力していく予定です。

### 学生の挑戦を支援する「SPEC」

京大生チャレンジコンテスト「SPEC: Student Projects for Enhancing Creativity」は、〈おもろい〉ことにチャレンジする学生を応援するために2015年度よりスタートしました。学生が「やりたい」ことを応募し、コンテストをパスしたアイデアに対して、京都大学基金がクラウドファンディングによって寄付を募り、活動資金として支給します。

第3回を迎えた2017年度は5件のプロジェクトが採択され、すべて寄付目標金額を達成しました。



採択発表会にて、2016・2017年度採択学生と総長ら

## 京都大学同窓会だより

### 第12回京都大学ホームカミングデイの開催

2017年11月3日(金・祝)、「<sup>そ</sup>創」をテーマに第12回京都大学ホームカミングデイを開催しました。当日は、同窓生、一般の方など約2,800名の参加がありました。

講演会は、テーマと同じ「創」と題し、陶芸家 樂吉左衛門氏から、樂焼や初代長次郎の黒樂茶碗、千利休の茶の湯、お茶室などのお話がありました。後半の山極総長とのパネルディスカッションでは、樂茶碗の世界とゴリラの世界が融合し、おいにもりありがとうございました。



講演を行なう樂氏

ほかにも、竹茂楼の特別弁当と京都大学ジャズ研究会「Off-Beat」によるジャズ演奏を楽しんでいただく「京料理を味わう」や、京都大学交響楽団と、京大合唱団OB・OG・現役生による音楽会、クスノキを中心に屋

台やステージなどを展開した「くすのき秋祭2017」、唐池恒二 JR九州代表取締役会長をお招きして開催した「卒業生×在学生 交流イベント～京大生のキャリアを考える～」など、さまざまなイベントを行ないました。

新たな企画として、スタンプラリーを実施しました。在学生による解説を聞きながら本学構内10か所を巡っていたが、スタンプを貯めた方にプレゼントを進呈しました。

当日は天候にも恵まれ、参加者は穏やかな秋の一日を満喫していました。次回のホームカミングデイは、2018年11月3日(土・祝)に開催します。



音楽会



スタンプラリー

### 新規加入「富山県京都大学同窓会」

2017年11月、富山県京都大学同窓会が設立されました。富山県に在住または勤務する本学の卒業・修了生を会員とし、会員数は約500名です。これを受けて、京都大学に加入している同窓会の数は112となりました。



同窓会設立総会

同窓会 Facebook で最新情報を掲載しています。ぜひ、フォローください!

<https://www.facebook.com/KyodaiAlumni/>



## 多様な出会いと交流のなかで

千松信也

猟師



「千松くん、寝てるんでしょ?!」  
文学部東館地下の自治会室。  
ドアを叩く音が覚めた。薄汚れた二段ベッドから這い出して、ドアを開けると、事務のお姉さん。「三回生からの専攻の希望出していないの、もうあなたただけなんだけど?」

「あーそうですか。まあ授業も全然出てへんし、どこでもいいかな」「だめだめ、そんなことじゃ。そうねえ、あなた自治会とかやってるんだったら社会学は? ……あ、ダメ、もう定員いっぱい。あ、現代史学なら入れるかも。あそこもそういう人多いし。じゃあ、もうそれでいいね!」

こうして僕はぶじに研究室に入る事ができた。「猟師やりながら本まで書くなんて、さすが文学部!」なんて言われるが、史学科なので、じつはあまり関係ない。

## はじめて

## 獲物を捕らえた夜

学生時代に猟を始めて、最初の獲物はシカだった。懸命にトドメを刺し、バイクに縛り付けて持ち帰った。覚悟して始めたはずだったが、やはり自分と同じくらいの大きさの動物の命を奪うことには思った



学生時代、捕まえた獲物はバイクで運搬した

以上に抵抗があり、動揺した。当時、住んでいたのは吉田寮。シカを担いだ僕のまわりに寮生がどんどん集まってきた。

「おー! すげえ」  
「こりゃあ、全寮放送せなあかんな」  
「まあ、とりあえず千松も飲めや」  
変わらないいつもの面々に会い、さっきまでの心の葛藤や緊張が一気に和らいだ。

放送を聞いた同期入寮の留学生が包丁を片手にやってきた。「千松サン、ワタシ、中国ではよくヤギさばいてたヨ」  
寮の前の広場で解体。焚き火で炙ってどんどん肉を食う。「めちやくちやうまいわ」  
「つぎはイノシシやな」

結局、一晩で一頭まるまる食べ

尽くした。このとき、みんなに喜んでもらえたことが、僕がいままで猟を続けていられる原動力となっているのはまちがいない。

## ふと思いつく、あのとこの人びと

二月祭で屋台を出して獲物の肉をふるまったこともあった。そのときは、学生よりも用務員さんや警備員の方に好評で、ずいぶんなかよくなった。「にいちゃん、ついに卒業するんか。さびしなるなあ」

吉田寮の受付までビールを一箱、卒業祝いに持ってきてくれた某S学部の用務員さんのことは忘れられない。

そう、特定のだけかではない。休学・留年を入れての一〇年間、好き勝手やって過ごした学部生活。そのなかでお世話になった方がたや友人たちとの多様な出会いがいまの僕を形づくっている。「なんで京大まで行って猟師なの?」

散々言われた言葉だが、僕は京大に行ったおかげで、自分の人生についてじっくりと自由に柔軟に考えることができ、この道を選ぶことができたのだと思っている。



9年間を過ごした吉田寮の一室にて。長髪だったころ

せんまつ・しんや

1974年に兵庫県に生まれる。京都大学文学部に在籍中に狩猟免許を取得し、先輩の猟師から伝統的な網猟を学ぶ。鉄砲による猟は行っていない。現在も運送会社で働くかたわら猟師をつづける。著書に『ぼくは猟師になった』(新潮文庫)、『けもの道の歩き方——猟師が見つめる日本の自然』(リトルモア)。狩猟啓発イベントや市民講座などでの講演も各地で実施している。

## 編集後記

最近、小学校では、掃除時間になると子どもたちがいっせいに「スワイプ」をしているらしい。ピョンチャン・オリンピックで有名になったカーリングで、ブラシでせっせと氷上を掃く、あの動作である。掃除につかう箒を持たば、たちまちそれで遊ぶことができるのが子どもであろう。

歩道を子どもたちが走っている。子どもたちはなぜ走るのだろう。大人は、目的をもって走るが、子どもは目的もなく走る。そして、昨日見た子どもたちのうちの一人は、コテンとこけたりしていた。私は、自分のひざ小僧

の傷跡を思い出したりした。

でも、先日東京で見た子どもは、雪をわざわざ避けて歩いていた。子どもって、わざわざ雪の中に入っていかなかったっけ、と私は少し悲しくなった。

子どもが必ずしも「子ども性」をもっているわけではない。同様に、大人だって「子ども性」をもつことができる。京大は、この「子ども性」をいつまでももちつづけることができる大学でありたいと思う。

2018年3月

広報委員会『紅萌』編集専門部会



京都大学広報誌 **紅萌** 第33号  
2018(平成30)年3月25日発行

編集●京都大学広報委員会『紅萌』編集専門部会  
発行●京都大学 総務部 広報課  
〒606-8501 京都市左京区吉田本町  
TEL 075-753-2070 FAX 075-753-2094  
URL <http://www.kyoto-u.ac.jp/>  
E-mail [kurenai@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp](mailto:kurenai@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp)  
制作協力●京都通信社 デザイン●高木美穂

『紅萌』は、次のURLで閲覧できます。

WEB版 <http://www.kyoto-u.ac.jp/kurenai/>

PDF版 <http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/public/issue/kurenai/>

©2018 京都大学 (本誌記事の無断転載・放送を禁じます)